

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-7

<33週> 水痘 - 引き続き減少を続けているが、過去5年間の同時期と比べてやや多くなっている / その他最新動向
<7月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.8

<デング熱> 第31～33週にタイからの帰国者で4例報告されている



病原体情報
P.9

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎 / 咽頭結膜熱



速報
P.10

無菌性髄膜炎患者からのエコーウイルス13型の分離状況、2002年 - 岐阜県



海外感染症情報
P.11-12

ブルンジ、ルワンダ、タンザニアのGreat Lake地域での髄膜炎菌性感染症流行 / マダガスカルのインフルエンザ - 更新4 / ウエストナイルウイルス流行州 - 米国、カナダ / ウエストナイルウイルス更新 - CDC/8月27日現在



感染症の話
P.13-15

急性出血性結膜炎
エンテロウイルス70(EV70)とコクサッキーウイルスA24変異株(CA24v)によって引き起こされる激しい出血症状を伴う結膜炎



読者のコーナー
P.16



グラフ総覧(33週)
P.17-23



グラフ総覧(7月)
P.24-28



7月のデータ
P.29-32



33週のデータ
P.33-40



発生動向総覧

第33週コメント 8月22日集計分

全数報告の感染症

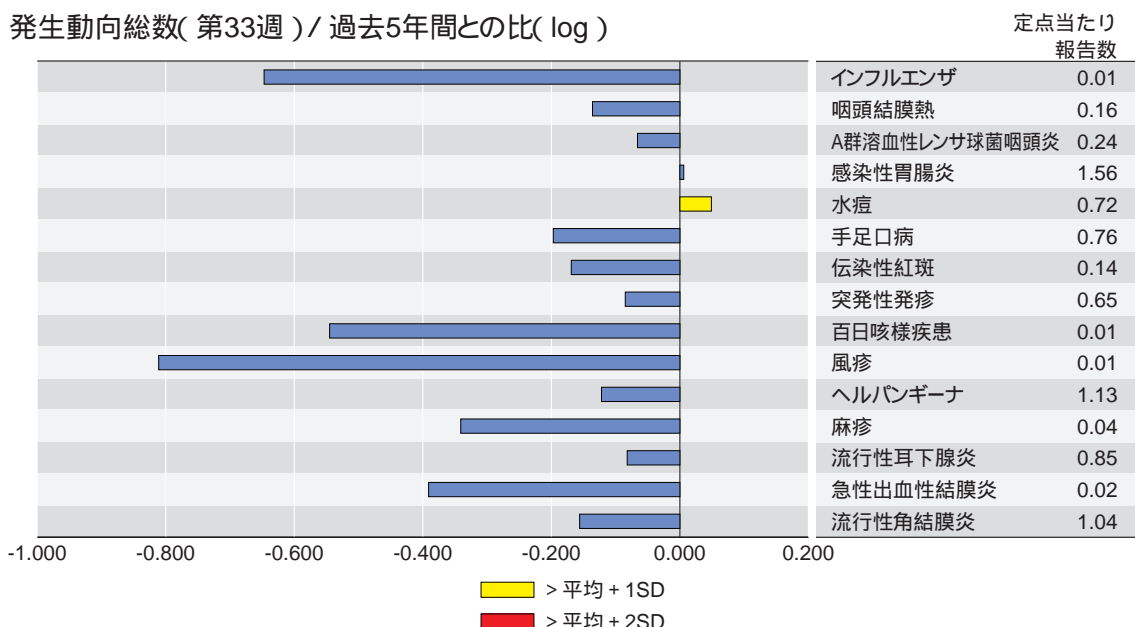
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ3例(推定感染地: すべて国内)、細菌性赤痢10例(推定感染地: インドネシア4例、中国2例、アラブ首長国連合、エジプト、タイ/インド、モロッコ各1例)、パラチフス1例(推定感染地: インドネシア)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症235例(うち有症者124例。栃木県のO157集団発生事例を含む)
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例(推定感染地: 国内3例、マレーシア1例)、エキノコックス症1例(多包条虫、65歳)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(ともに死亡)、コクシジオイデス1例(推定感染地: 米国)、シアルジア症4例、デング熱1例(推定感染地: タイ)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、レジオネラ症5例(宮崎県の温泉集団発生事例1例を含む)、急性ウイルス性肝炎5例
 - A型2例
 - B型3例(感染経路: 性的接触1例、性的接触/静注薬物使用1例、その他1例)
- 後天性免疫不全症候群11例(無症候性7例、AIDS 4例)
 - 感染経路: 性的接触9例(異性間6例、同性間3例)、不明2例
- 梅毒5例(早期顕症3例、無症候性2例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

水痘は引き続き減少を続けているが、定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べてやや多くなっている。都道府県別の定点当たり報告数では、特に目立った所はない。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は3週連続して減少し、1999年から2001年の平均の報告数の1.8倍程度となり、都道府県別では岡山県(1.8)からの報告が多い。

他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くなってはいない。感染性胃腸炎は、7週間ぶりに過去5年間の同時期と比べて定点当たり報告数が特別多くはなくなったが、都道府県別では大分県(3.9)、宮崎県(3.8)からの報告数が多い。手足口病とヘルパンギーナの定点当たり報告数は夏のピークを超え、減少している。都道府県別では前者が鳥取県(3.4)、和歌山県(2.6)、岡山県(2.5)、後者が三重県(3.1)、青森県(3.1)、長野県(2.9)からの報告が僅かに多い。咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少を続けている。都道府県別では前者が佐賀県(0.3)でやや多く、後者は佐賀県(1.0)、熊本県(0.7)、大分県(0.7)、宮崎県(0.7)と九州地区からの報告が多い。流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎の定点当たり報告数も減少しているが、都道府県別で前者が宮崎県(3.6)からの報告が多く、後者は宮崎県(6.0)、群馬県(5.4)からの報告数が多い。

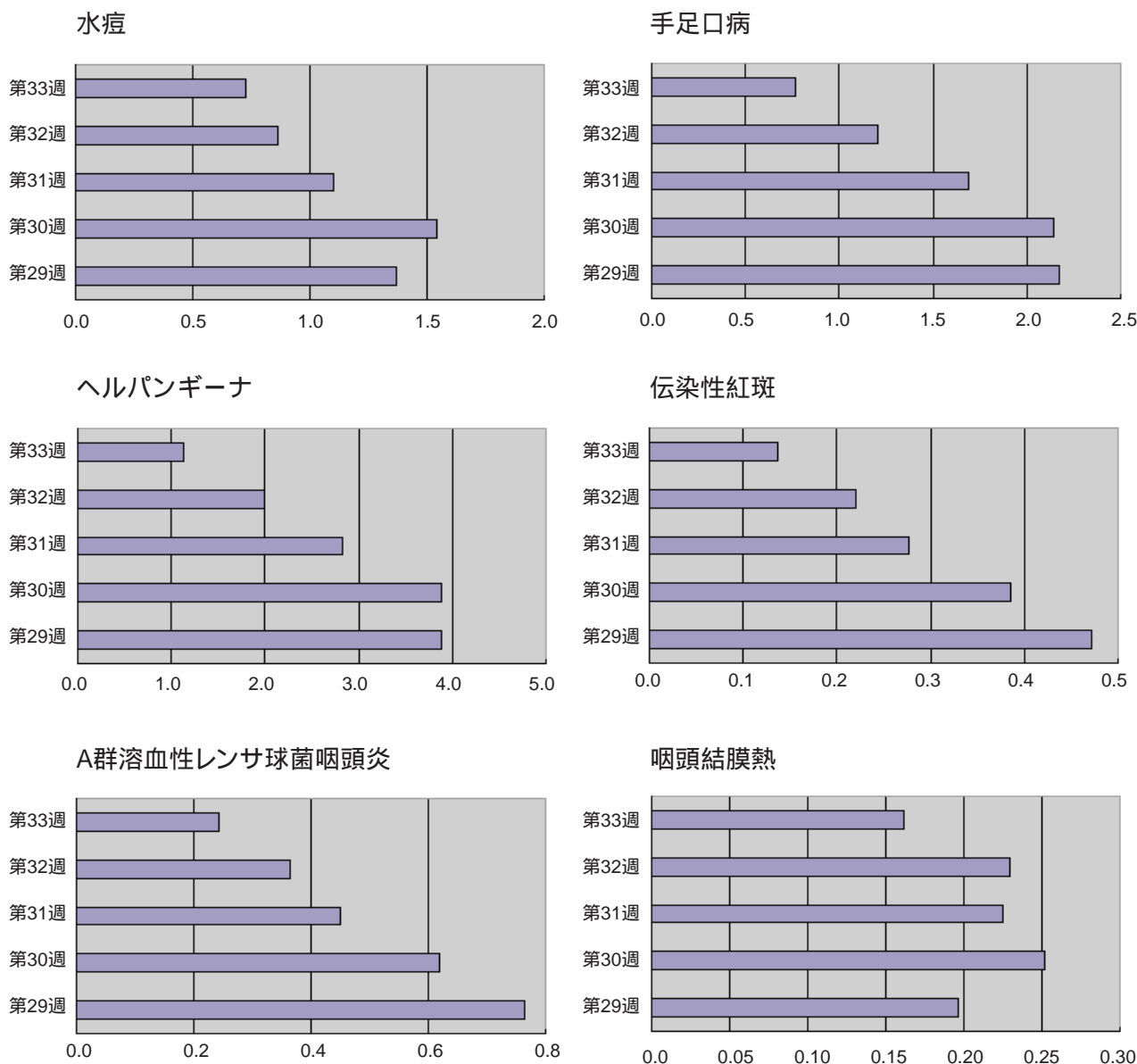
発生動向総数(第33週) / 過去5年間との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

最近の注目疾患－5週間の動き

水痘、手足口病、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び咽頭結膜熱の定点当たり報告数は前週に比べて減少している。



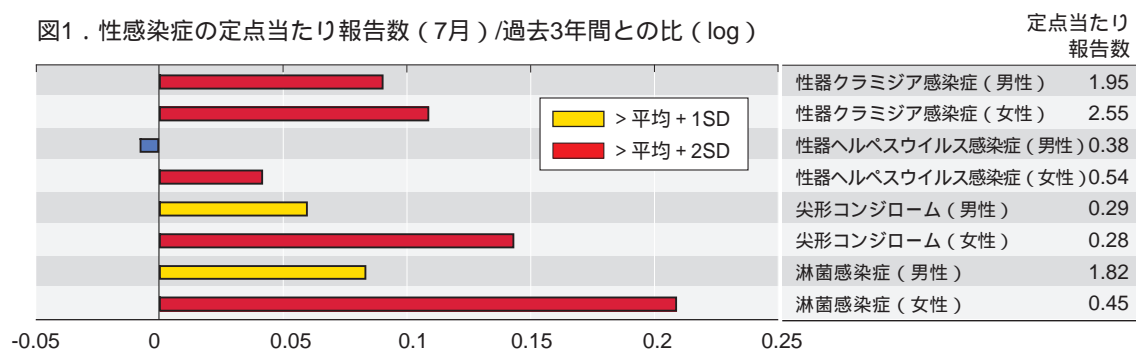
(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

7月コメント

性感染症について(8月13日集計分)

2002年7月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が4.50(男1.95、女2.55)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.93(男0.38、女0.54)、尖形コンジロームが0.57(男0.29、女0.28)、淋菌感染症が2.27(男1.82、女0.45)で、4疾病のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。前月に比べ、いずれの疾病も男女共に増加した(24～27ページ「グラフ総覧」参照)。

過去3年間の同時期と比較すると、女性では4疾病とも平均+2標準偏差(SD)を超え、男性では性器クラミジア感染症で平均+2SDを、尖形コンジロームと淋菌感染症で平均+1SDを超えている(図1)。



当該月と過去3年間の平均(過去3年間の前月、当該月、後月の合計9月の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾病でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では30～34歳にも多く、他の3疾病に比べ50歳代以降の高年齢層からの報告も少なくない(図2)。

男女比は、性器クラミジア感染症で1:1.31、性器ヘルペスウイルス感染症で1:1.41、尖形コンジロームで1:0.98、淋菌感染症で1:0.25で、淋菌感染症では男性の占める割合が高い。いずれの疾病でも、若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(7月の性感染症定点総数は913)

感染症法が施行された1999年4月以降について、15～29歳の若年齢者層での各性感染症の男女別月別定点当たり報告数を図3に示した。男女共に、性器クラミジア感染症、淋菌感染症の増加が顕著である。

なお、24～27ページ「グラフ総覧」で示した各性感染症の月別定点当たり報告数において、1999年3月と4月の間に生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

図2. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

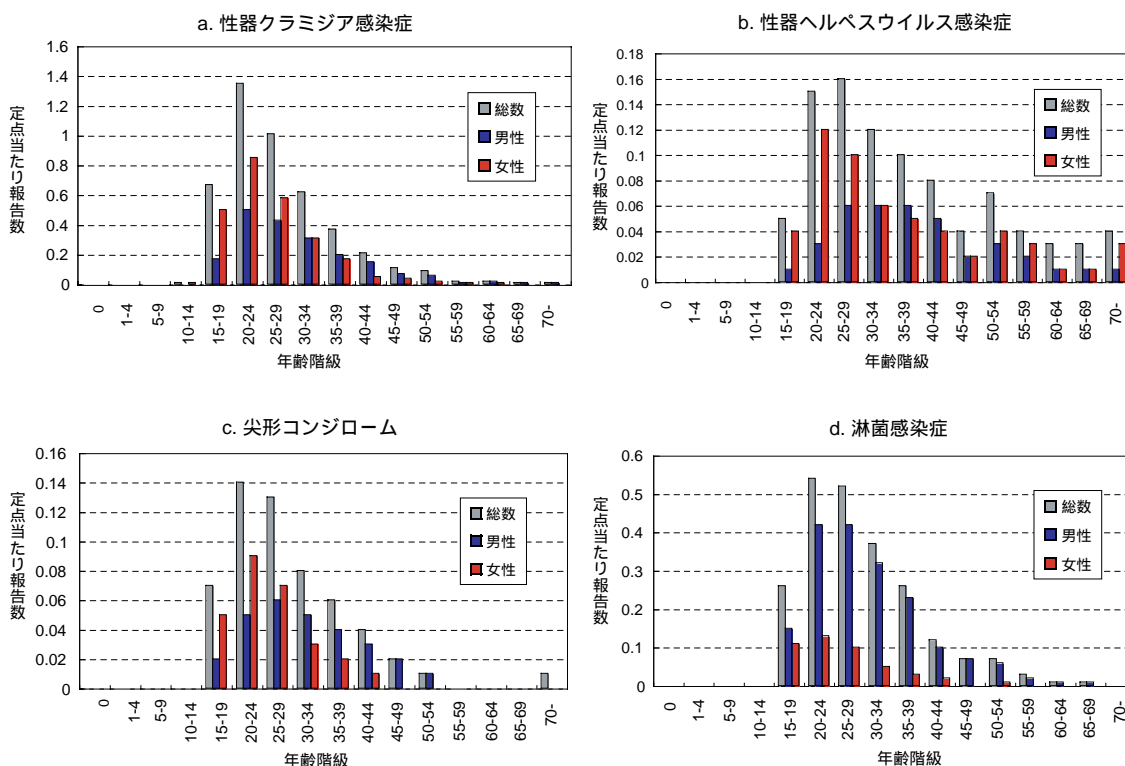
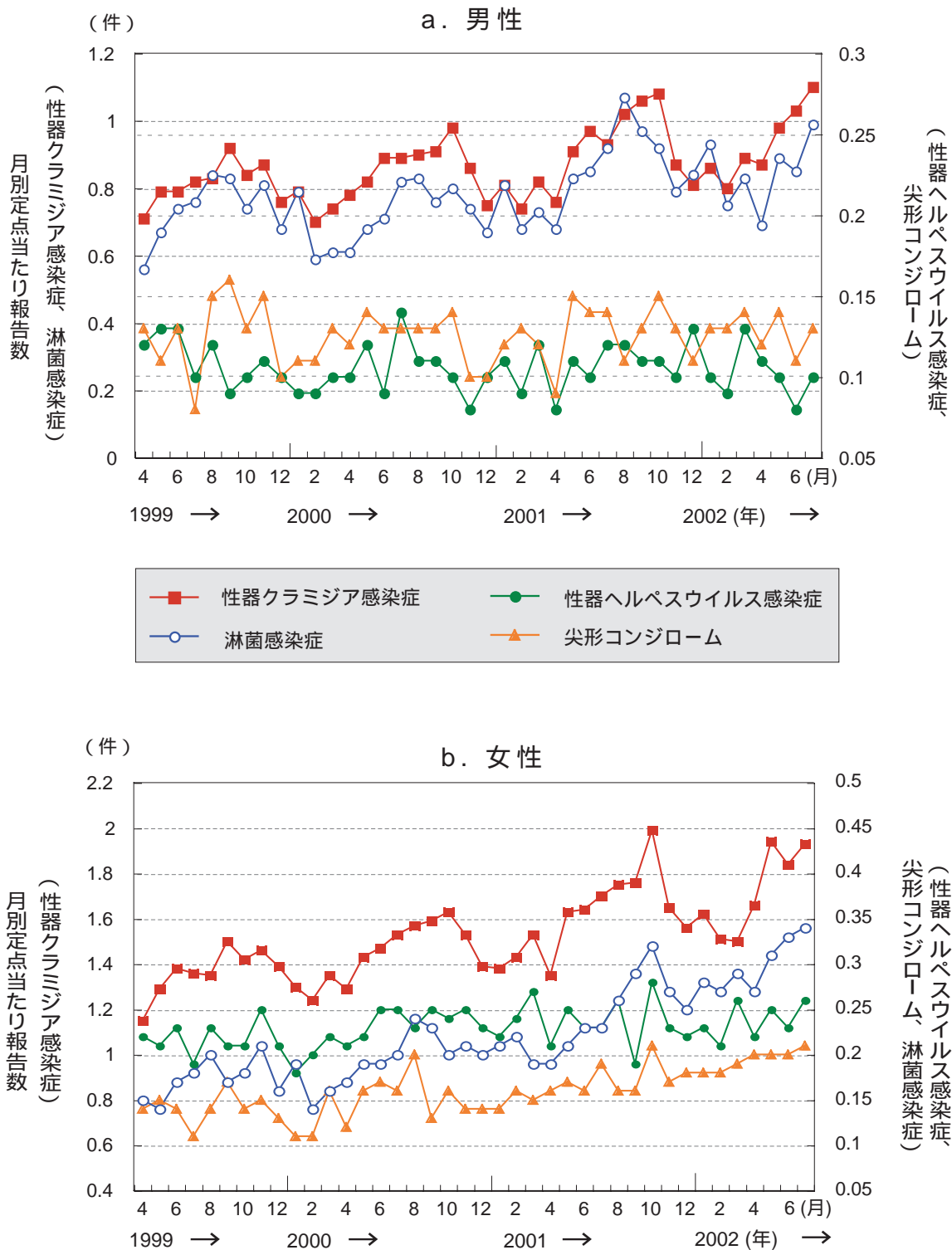


図3.1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15~29歳)



薬剤耐性菌感染症について (8月13日集計分)

【注】)内の+、-、= は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

7月の基幹定点総数 : 462 .

7月の定点当たり報告数 : メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.98(+)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 1.00(-)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.13(+)

年齢階級別 : MRSA感染症 …………… 0歳と高齢者に多く、5歳未満が11%、65歳以上が全体の65%を占める。

PRSP感染症 …………… 1～4歳が最も多く、5歳未満が61%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症 …… 高齢者に多く見られ、65歳以上が全体の57%を占める。

性 別 : 定点当たりの報告数で男性の女性に対する比率をみた場合、MRSA感染症で1.7倍、PRSP感染症で1.4倍、薬剤耐性緑膿菌感染症では2.4倍上回っている。

都道府県別 : MRSA感染症 …………… 山口県(12.00)、富山県(10.40)と高知県(9.00)からの報告が多い。

PRSP感染症 …………… 5月に引き続き千葉県(7.11)からの報告が非常に多く、累積でも多い(55.00)。

薬剤耐性緑膿菌感染症 …… 今月は高知県からの報告はないが、累積では相変わらず高知県(4.25)からの報告が多い。

結核サーベイランス月報 (8月26日集計分)

7月の新登録患者数は3,223人、活動性肺結核患者は2,626人(うち喀痰塗抹陽性患者は1,132人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初*は973人、非定型抗酸菌陽性者数は299人であった。

*マル初…結核の感染が強く疑われ、発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

デング熱

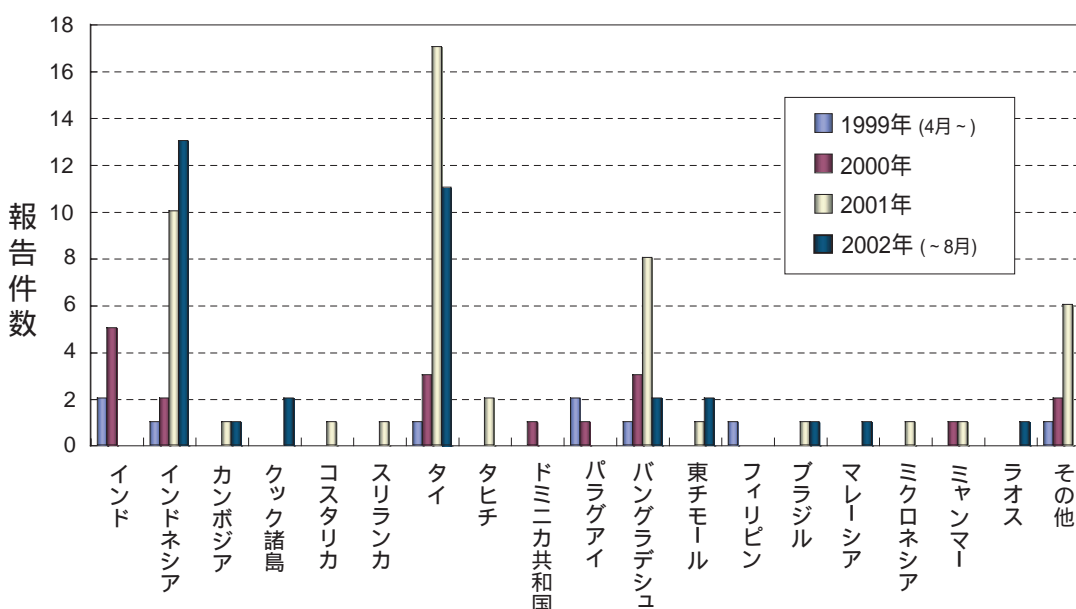
第31～33週にタイからの帰国者でのデング熱患者が4例報告されている。デング熱はネッタイシマカなどの蚊によって媒介され、デングウイルスを原因とする輸入感染症である。症状は感染3～7日後、突然の発熱で始まり、頭痛特に眼窩痛、筋肉痛、関節痛を伴うことが多く、食欲不振、腹痛、便秘などが起こることもある。また、出血傾向を示す重症型のデング出血熱を起こすことがある。我が国では1999年4月から感染症法により、4類感染症全数把握疾患となった。

感染症サーベイランスに基づく報告では1999年4～12月9例、2000年18例、2001年50例であり、2002年は第33週までに35例の報告があった。推定感染地は図に示す通りである。2002年には、昨年までみられたインドからの報告は今のところなく、インドネシア、タイなどの東南アジアからの報告が多い。第32週の2例はタイ、プーケット島への旅行者であり、海外の熱帯病のネットワークからもタイのサムイ島、バンガン島などの旅行者からデング感染例が増加しているとの報告もある。今年も昨年に引き続き、多くの熱帯・亜熱帯地域でデング熱の発生が報告されており、注意を要する。

報告された症例はほとんどがデング熱であり、デング出血熱は1999年1例が報告され、2000年には報告はなかったが、2001年に2例が報告された。2002年には既に2例のデング出血熱患者が報告されている。

現在のところ有効なワクチンはなく、発病後の対応も保存的治療が中心となる。そのため予防として、デング熱の流行している地域に旅行する際には、蚊に刺されないよう注意することが必要である。もし感染が疑われるときには、出血傾向を助長するサリチル酸系統の解熱鎮痛剤の使用は禁忌である。国内での診断は主要な地方衛生研究所、及び国立感染症研究所ウイルス第一部第2室などで可能である。ウイルス分離などの問い合わせについては、以下のウェブサイトを参照されたい。

<http://www.nih.go.jp/vir1/NVL/NVL.html>



デング熱・デング出血熱推定感染国（平成14年8月26日現在）



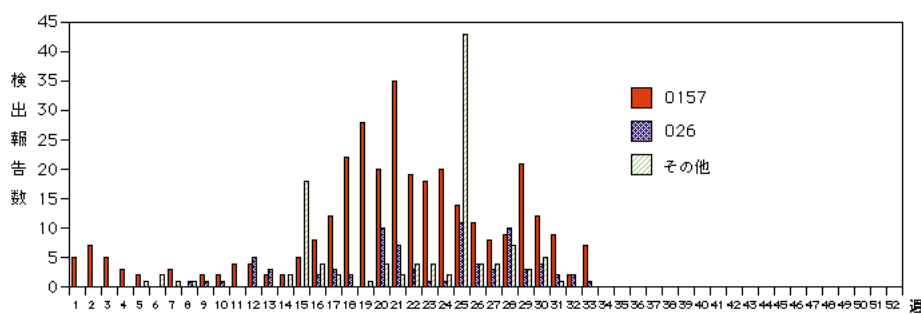
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年8月23日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌 2002年

検出総数は516件で、うちO157が321件(大阪府66、兵庫県36、佐賀県28など)、O26が80件(佐賀県17、富山県10、石川県9など)、O111が64件(佐賀県52など)、O121が27件(佐賀県23など)その他の血清型が24件である。最近では、O157が第32週に山形県2、第33週に山形県6、尼崎市1、O26が第32週に山形県2、第33週に山形県1の分離が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2002年 (病原微生物検出情報: 2002年8月23日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



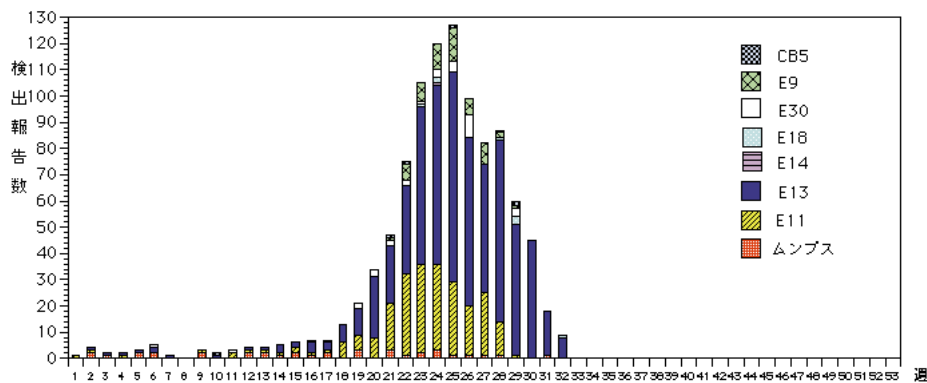
無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2002年

エコーウイルス(E)963件(13型628、11型234、9型54、30型32、6型8、14型3、18型3、16型1)、ムンプスウイルス37件、B群コクサッキーウイルス17件(5型8、2型6、4型2、3型1)、A群コクサッキーウイルス3件(4型2件、5型1件)の分離が報告されている。

第18週以降、E11とE13を中心に増加し始め、第23週以降は報告数に占めるE13の割合が大きくなっている。E13は各地での分離がさらに増加しており、現在までに九州から東北にかけて32都府県(広島県170、大阪府73、福井県64など)で分離されている。E11はほとんどが香川県(211)からの報告である。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離報告数、2002年

(病原微生物検出情報: 2002年8月23日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2002年

アデノウイルス2型43件(大阪府11、長野県7、兵庫県7など)、3型23件(川崎市5、長野県5、大阪府4など)、5型10件(兵庫県7、新潟県、京都市、熊本県各1)、1型9件(兵庫県5、札幌市、仙台市、新潟県、奈良県各1)、4型1件(兵庫県)、6型1件(北九州市)の分離が報告されている。



無菌性髄膜炎患者からのエコーウイルス13型の分離状況、 2002年 - 岐阜県

岐阜県では2002年4月初旬より無菌性髄膜炎患者の検体搬入が始まり、5月中旬以降は検体数が急増し、1998年の大流行以来4年ぶりの状況になっている。7月24日現在65検体(33名)が搬入され、このうち21検体(13名)からエコーウイルス13型(E13)が分離された。現在も検体の搬入は続いているが、以下に概要を示す。

ウイルス分離はRD-18S細胞、HeLa細胞、Vero-E6細胞を用い、検体量に余裕のある場合にはRT-PCRを実施し、エンテロウイルスの存在を確認した。プライマーはKUANおよびAltschulらの報告の2系統を使用した。

分離されたウイルスはいずれも初代でRD-18S細胞に明瞭なエンテロウイルス様CPEを示し、デシカ生研のE13単味抗血清20単位で容易に中和された。また、12検体はHeLa細胞から、7検体はVero-E6細胞からも分離された。PCR法については、6月までに搬入された36検体中、E13同定済の16検体すべて、および同定中の2検体を含む7検体の合計23検体が陽性であった。検体は各地域の医療機関より搬入され、流行が広範囲であることをうかがわせた。また、患者年齢も1カ月齢～13歳の中学生までの広い年齢層に認められた。

E13については、2000年以前では1980年に岐阜県から1株の分離が報告されている。当時の担当者は既に退職し詳細は不明であるが、報告された病原微生物検出報告票(個人票)によれば、ウイルスはポリオ流行予測調査で8月に県中央部のK村で採取された5歳女児の便より分離されたものであるが、1980年分離株は所在不明で、今年度の分離株との変異を比較することはできなかった。なお、同時に採取された他の検体からは、コクサッキーウイルスB4型が16株、エコーウイルス(E)β型が8株と多数分離され、他にE18、E25、アデノウイルス2型が各1株報告されている。

今年度の流行株については、分離陰性でPCR陽性の検体も認められることから、シーケンス等を実施し詳細な解析を行う予定である。

岐阜県保健環境研究所

野田伸司 猿渡正子 青木 聡 所 光男

(IASR2002年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ブルンジ、ルワンダ、タンザニアのGreat Lake地域での髄膜炎菌性感染症流行

WHO/CSR 8月23日

ブルンジ:ブルンジ保健省は、7月6日以来Ngozi, Muyinga, Kirundo州で死亡者30例を含む269例の患者の発生を報告した。検査された8検体中6検体で、*Neisseria meningitidis* 血清型A群が検出された。WHOはUNICEF, 赤十字国際委員会、国境なき医師団(MSF)、ハンディキャップ・インターナショナル、保健省とともに抑制活動の調整を行っている。Muyinga全域とNgozi, Kirundo両州の流行地域で、ワクチンキャンペーンが計画されている。

ルワンダ:ルワンダ保健省は、Butare州で6月24日以来死亡者20例を含む111例の患者の発生を、また、Kibungo州で7月31日以来7例の死亡者を含む62例の患者発生を報告した。Butare州ではワクチン接種が開始され(24万4千人が接種済み) Kibungo州でも接種が計画されている。WHO, UNICEF, MSFベルギー支部がワクチンを追加提供している。

タンザニア:Kibondo地域のNdutaとKaragoの両難民キャンプで、7月1日以来4例の死亡者を含む90例の疑い患者の発生がWHOに報告された。国際救援委員会と国連難民高等弁務官事務所が、患者管理とサーベイランスの支援を行っている。

マダガスカルインフルエンザ - 更新4

WHO/CSR 8月23日

8月22日現在、感染流行はマダガスカル全6州中5州に拡大し、感染が確認されていないのは北東部のAntsiranana州のみとなった。報告された累計の患者数は、死亡者671例を含む22,646例である。被害が最も深刻なのは、死亡者556例を含む患者18,808例が発生したFianarantsoa州である。

患者数の増加の一因として、保健省の定めた診断基準がすべての地区に行き渡ったことが挙げられる。Global Outbreak Alert and Response Networkからの国際チームは、症例の調査と検体採集を行っている保健省からの移動チームと共に活動している。

現在のところ、インフルエンザA型(H3N2)が分離されている。予備的な調査結果からは、致死率が高率となった一因として、流行地域では医療機関への受診が困難なこと、栄養状態が極めて悪いことがあげられている。保健省と共にWHOは、UNICEF、世界食糧計画と協力して可及的速やかに蛋白質の豊富な食料を供給し、栄養教育センターを設置するため活動している。

ウエストナイルウイルス流行州 - 米国、カナダ



合衆国 : <http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/surv&control.htm>

カナダ : <http://www.hc-sc.gc.ca/pphb-dgspsp/wnv-vwn/index.html>

ウエストナイルウイルス更新 - CDC/8月27日現在*

*CDC/Arbonetへの報告、または州、地域当局との直接連絡による、2002年8月27日現在の2002年累計

(<http://www.cdc.gov/od/oc/media/wncount.htm>)

ウエストナイルウイルス最新情報

<http://www.cdc.gov/od/oc/media/wnupdate.htm>

各州へのリンク

http://www.cdc.gov/ncidod/dvbid/westnile/city_states.htm

州	確定および疑い症例数	死亡
アラバマ	6	
ワシントンDC	1	
フロリダ	1	
ジョージア	6	2
イリノイ	60	2
インディアナ	6	
ケンタッキー	3	1
ルイジアナ	171	8
メリーランド	1	
マサチューセッツ	1	
ミシガン	13	1
ミシシッピ	91	3
ミズーリ	16	1
ネブラスカ	1	
ニューヨーク	4	
オハイオ	24	2
サウスダコタ	3	
テネシー	4	
テキサス	38	1
バージニア	1	
ウィスコンシン	2	
合計	453	21



感染症の話

急性出血性結膜炎

急性出血性結膜炎(AHC)は、主としてエンテロウイルス70(EV70)とコクサッキーウイルスA24変異株(CA24v)の二つのエンテロウイルスによってひきおこされる、激しい出血症状を伴う結膜炎である。両ウイルスともヒトからヒトへ直接接触伝播する。EV70は1971年、当時国立予防衛生研究所ウイルス中央検査部長であった甲野禮作らによって発見されたウイルスで、北海道で分離された株が標準株になっている。CA24vはEV70とほぼ同時期の1970年に、東南アジアで流行していたAHC患者から分離されたウイルスである。同じ病原性を持ったエンテロウイルスが時期を同じくしてヒト社会に出現した理由は、今もって謎である。AHCと診断された患者からは主にEV70やCA24vが分離されるが、アデノウイルスなどのその他のウイルスが分離されることもある。

疫学

AHCは1960年代の終わりに突如としてヒト社会で爆発的大流行を起こしたが、臨床的にはそれまで経験されなかった全く新しい型の結膜炎である。その伝播の規模と速さはインフルエンザのそれらに匹敵するものであった。当時の疫学解析からは、発生源は明確に2つのフォーカスを示していた。第一のフォーカスは1969年西アフリカ、ガーナの首都アクラの大流行である。その出現がアポロ11号の月面着陸とほぼ同時期であったため、この地域ではアポロ病というニックネームで呼ばれた。これがEV70による最初の流行である。流行はその後2～3年の間にオセアニア大陸を除く東半球全域に波及し、1980～1981年には2度目の大流行が報じられ、その伝播は西半球にも及んだ。一方、東南アジアでは、1969年頃からジャワ島を中心にすでにAHCの流行が報じられていたが、伝播状況からすると、病原体がアフリカから直接広がったとは考えにくいものであった。これはCA24vによる流行で、この地域では以後約5年ごとにCA24vによる爆発的大流行を経験することになった。このように、1969年に端を発したAHCの世界的流行は同時期に出現し、しかも臨床的には区別し得ない新型の結膜炎を起こし、遺伝学的、血清学的に全く異なる2つのエンテロウイルスを原因とするものであった。

現在においても地球レベルで見れば、毎年両ウイルスによるAHCは散発的に、時に数万人規模でひきおこされており、ウイルスも分離されている。わが国においては、1990年の宮崎県、1994年の熊本県の流行からのウイルス分離は成功していないものの、EV70の遺伝子が検出されている。一方、CA24vは1985年の沖縄県、1993年の宮崎県および鹿児島県、1994年の東京都、1997年の岡山県および熊本県などで流行がみられ、ウイルスも分離されている。

1999年4月施行の感染症法に基づく発生動向調査による報告数(定点当たり報告数)は、1999年4～12月に1,084(1.89)、2000年および2001年1～12月にはそれぞれ1,430(2.29)、1,319(2.09)(後者は2002年8月現在の暫定データ)となっている。時期的には、大流行がないときには発生の特別な季節性はみられない。年齢は広範囲にわたるが、6～7歳以下、特に1～4歳に多く、ときに20～30歳代にもやや多くみられている。

病原体

本疾患の原因ウイルスであるEV70とCA24vはともにエンテロウイルスの仲間、電子顕微鏡で見ると直径約30nmの小型の球形粒子として観察される(図1)。両ウイルスにつき、その遺伝子である1本鎖RNAを構成する約7,500の塩基配列が明らかになっている。

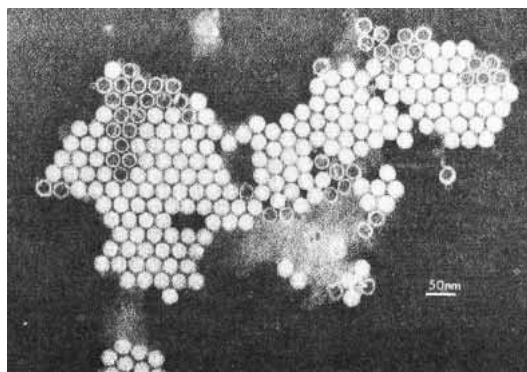


図1. EV70の電子顕微鏡像

大部分のエンテロウイルスは最初消化管に感染するのが普通であるが、この二つのウイルスの場合、感染部位はもっぱら結膜であり、消化管で増殖したとの報告はない。この性状は、培養細胞におけるEV70の至適温度が33～34

であり、39℃では全く増殖できないことと関連すると思われる。EV70は眼に病原性を有すること、潜伏期が極めて短く、感染後24～36時間で発症することが偶発的な実験室感染の結果明らかになったが、なぜ結膜下に激しい出血を引き起こすのか、そのメカニズムはいまだに明らかにされていない。

臨床症状

EV70とCA24vによる結膜炎は臨床的に酷似するので、臨床症状による病原ウイルスの鑑別は難しい。突然の強い目の痛み、異物感、羞明などで始まり、結膜の充血、特に結膜下出血を伴うことが多い。眼瞼浮腫、眼脂、結膜濾胞、角膜表層のび慢性混濁が高頻度にみられる(図2)。全身症状としては頭痛、発熱、呼吸器症状などがみられる。潜伏期はEV70が平均24時間であるのに対し、CA24vでは2～3日とやや長い傾向にある。通常、約1週間で治癒するが、EV70では罹患後6～12カ月に四肢に運動麻痺を来すことがあるので、経過観察をする上で注意が必要である。

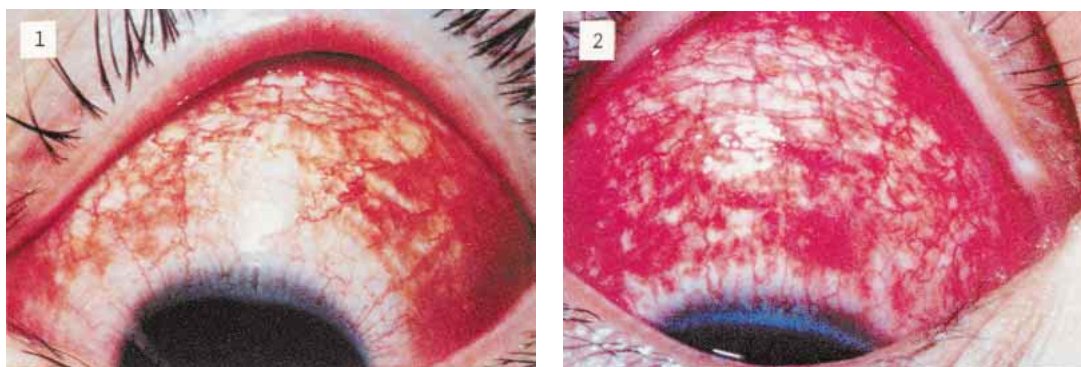


図2. 急性出血性結膜炎の眼病変

病原診断

病原診断のためには、結膜擦過物や眼ぬぐい液からのウイルス分離を行う。出現当初のEV70は比較的容易に分離され、型特異抗体による中和試験で同定された。しかしながら、培養細胞によるEV70の分離は近年極めて困難になっており、その理由は不明である。EV70の遺伝子は以前に調べられた変異速度で変化しつづけ、一方アミノ酸配列にはほとんど変化がないことが報告されている。したがって、診断は結膜擦過物や眼ぬぐい液から直接RNAを抽出後、RT-PCRで遺伝子を増幅し、その塩基配列を分子系統解析することによって行われている。一方、CA24vの場合にはウイルス分離は現在も比較的容易で、通常50%以上が分離陽性となるが、型特異抗血清による中和試験で同定する。血清診断も可能であるが、ペア血清での抗体上昇は低い場合が多く、かつ抗体レベルの持続も短い。両ウイルスともに、近年はエンテロウイルスに共通なプライマーで遺伝子を増幅して、直接塩基配列を決定し、分子系統解析から同定されている。

治療・予防

AHCに対する治療法はないが、細菌の二次感染を防ぐ目的で、抗菌スペクトルの広い抗菌薬やサルファ剤の点眼が用いられることがある。感染予防には流水下で手指を石鹸で十分に洗うこと、タオルなどの共用を避けることが重要であり、ウイルスで汚染した器具や物品の消毒には、煮沸と塩素剤(オーヤラックス、家庭用塩素系漂白剤など)が用いられる。

感染症法における取扱い

急性出血性結膜炎は4類感染症定点把握疾患に分類され、全国約600カ所の眼科定点より毎週報告がなされている。報告のための基準は以下の通りとなっている。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下の3つの基準のうち2つ以上を満たすもの

1. 急性濾胞性結膜炎
2. 眼脂、眼痛、異物感などを伴う眼瞼腫脹
3. 結膜下出血

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

学校保健法における取扱い

急性出血性結膜炎は学校において予防すべき伝染病第3種に定められており、出席停止の基準として「病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認められるまで」とされている。

(国立感染症研究所ウイルス第二部 武田直和)



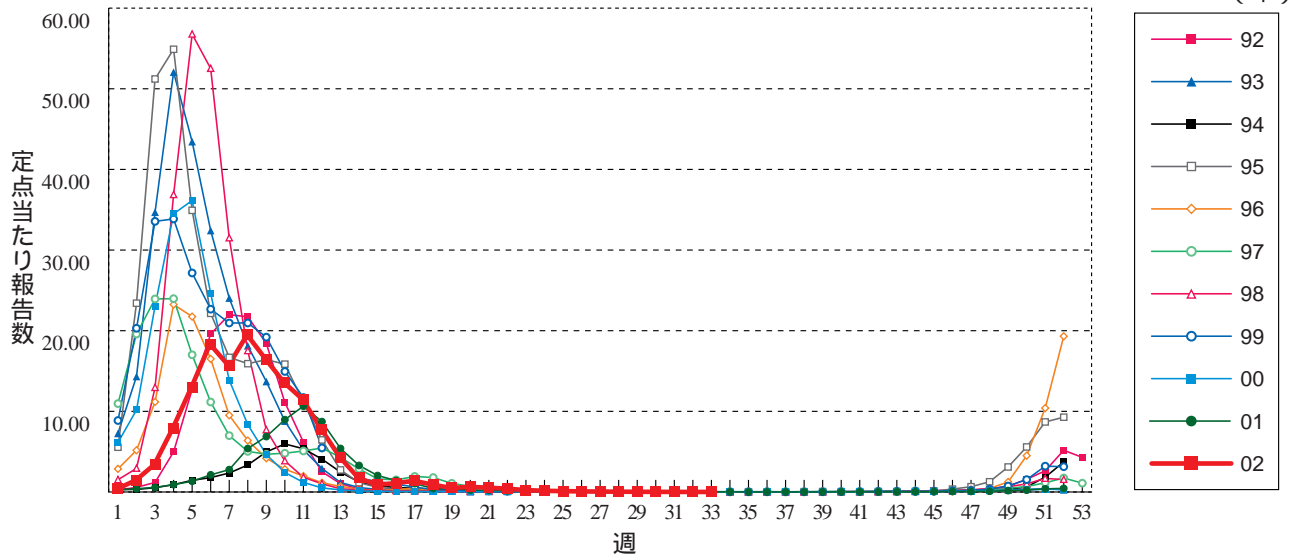
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

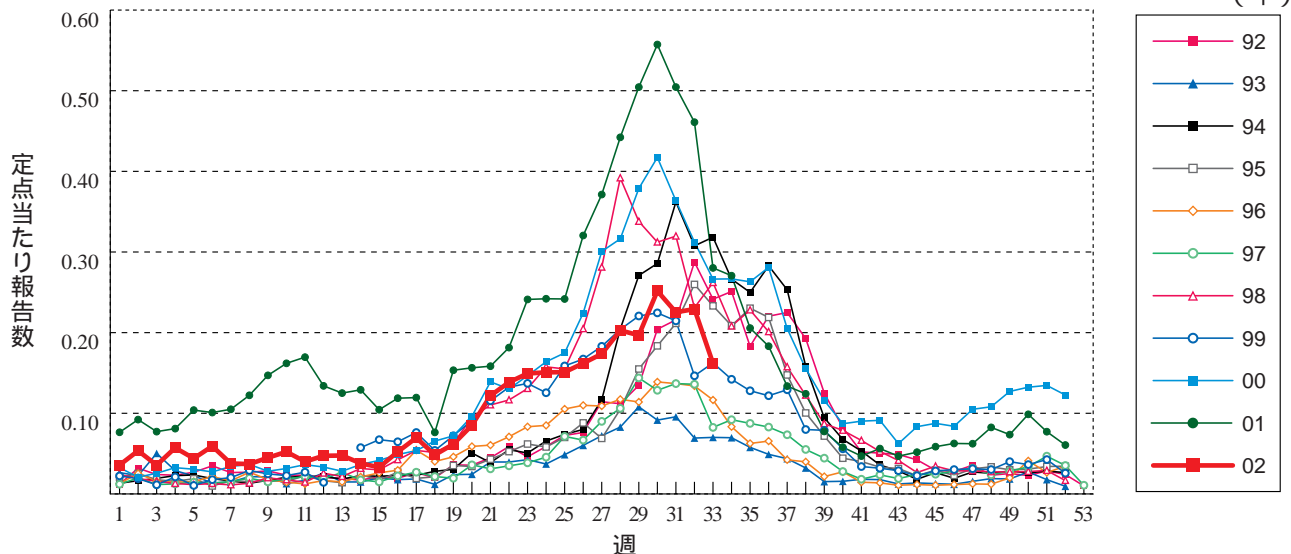
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(33週)

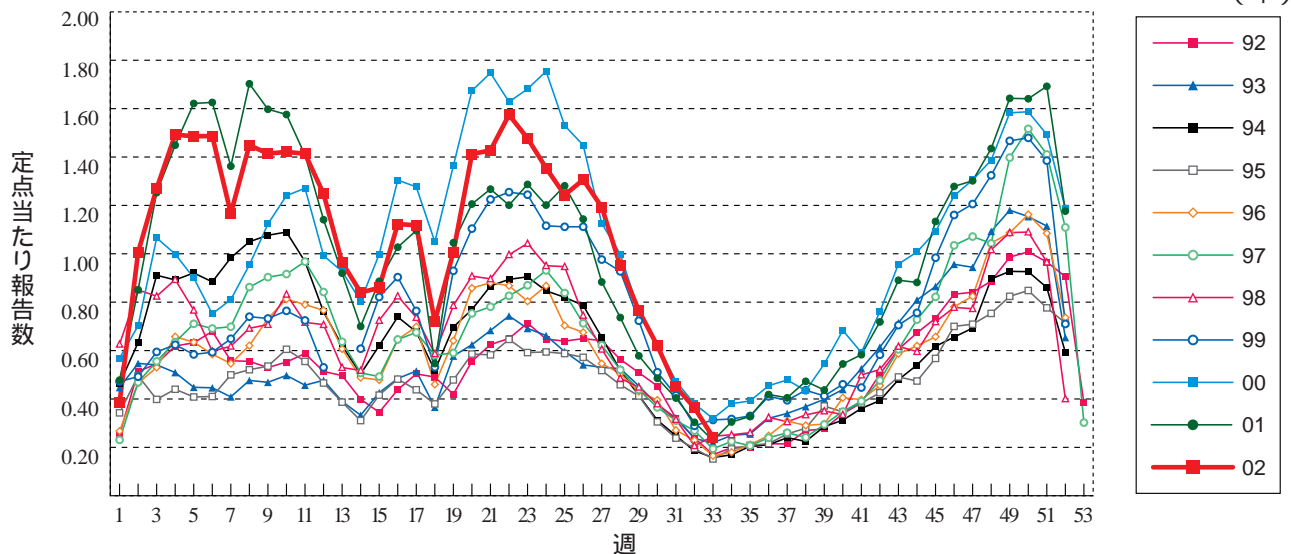
インフルエンザ



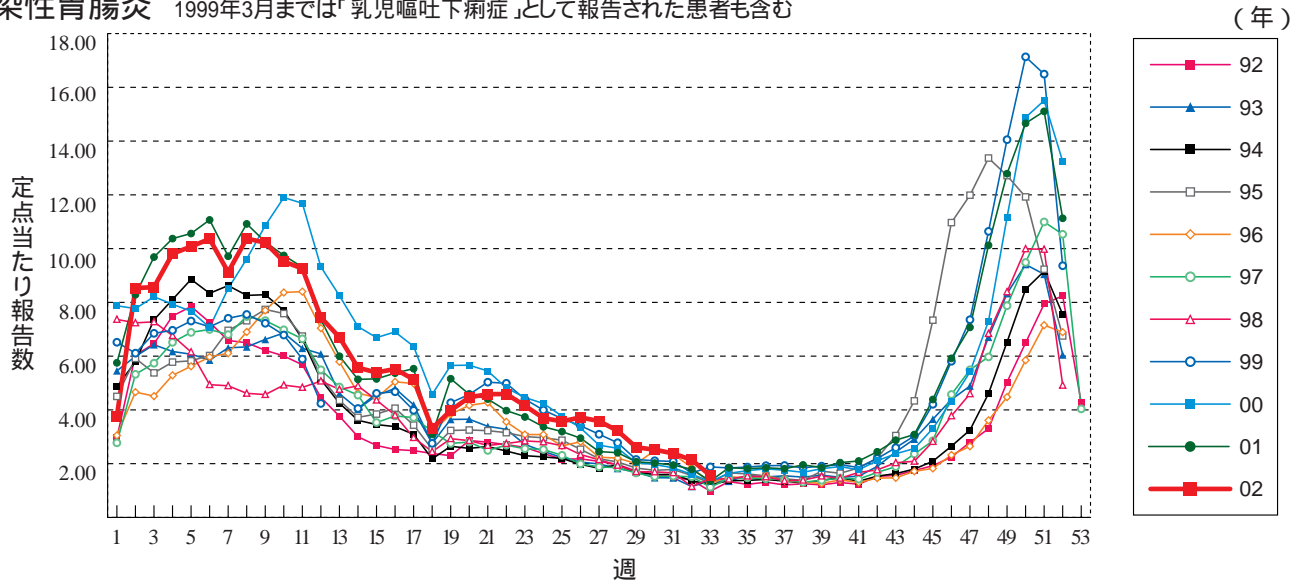
咽頭結膜熱



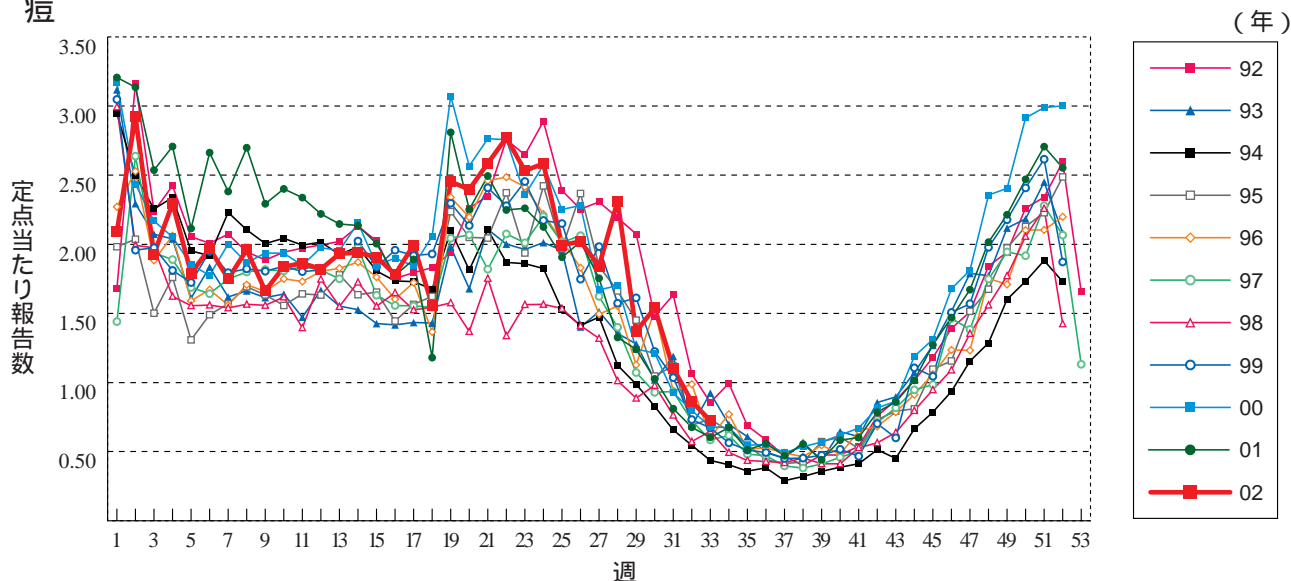
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



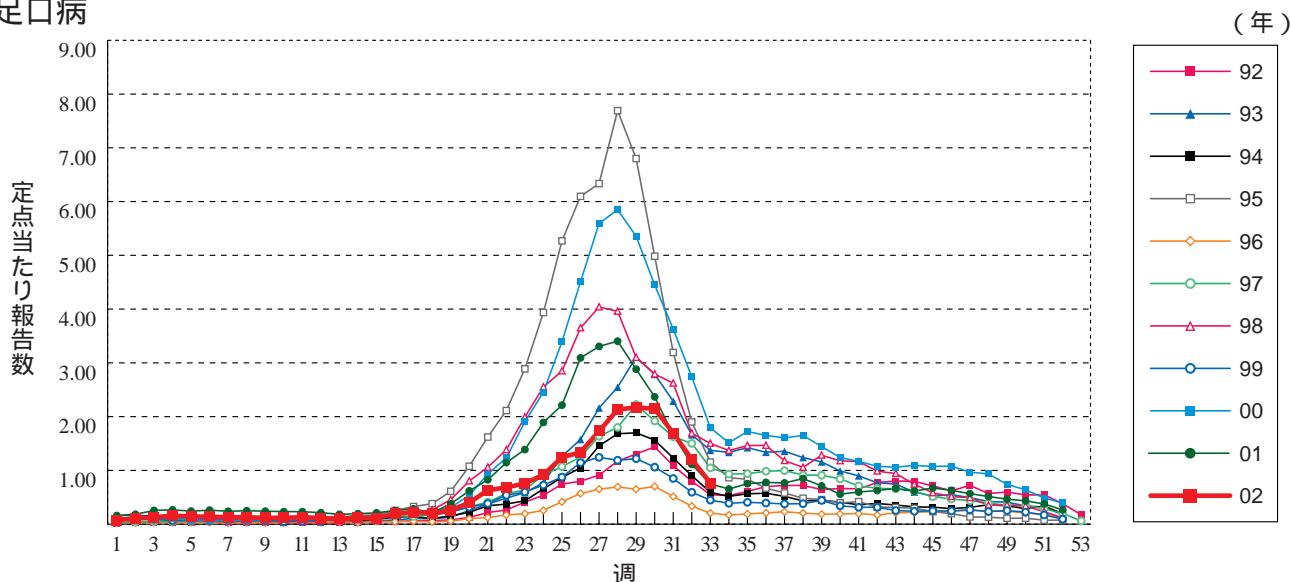
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



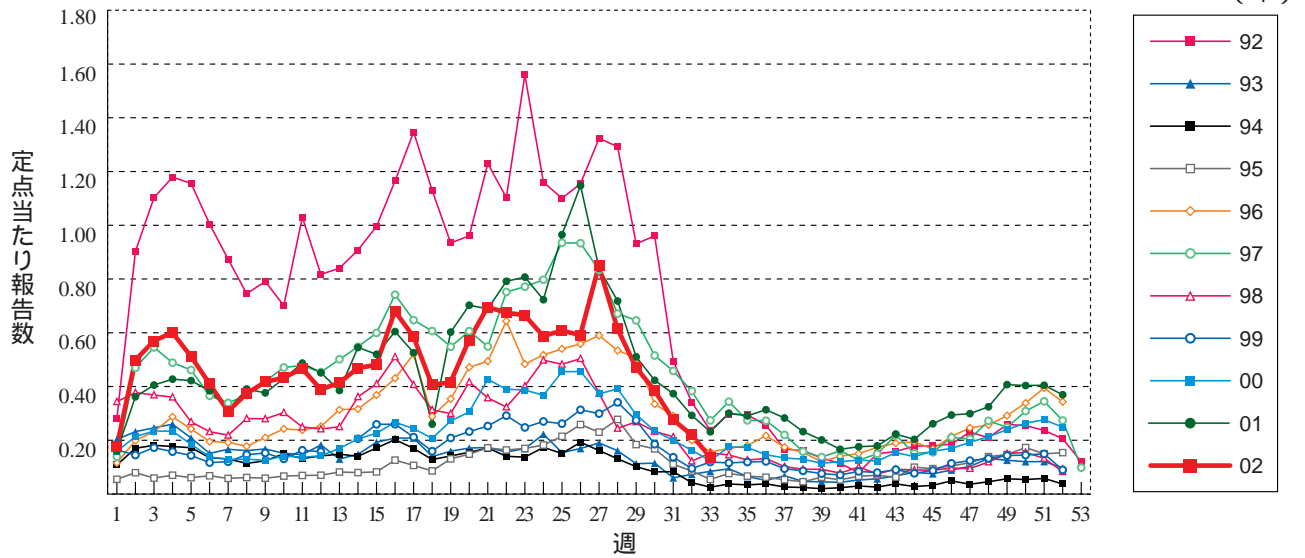
水痘



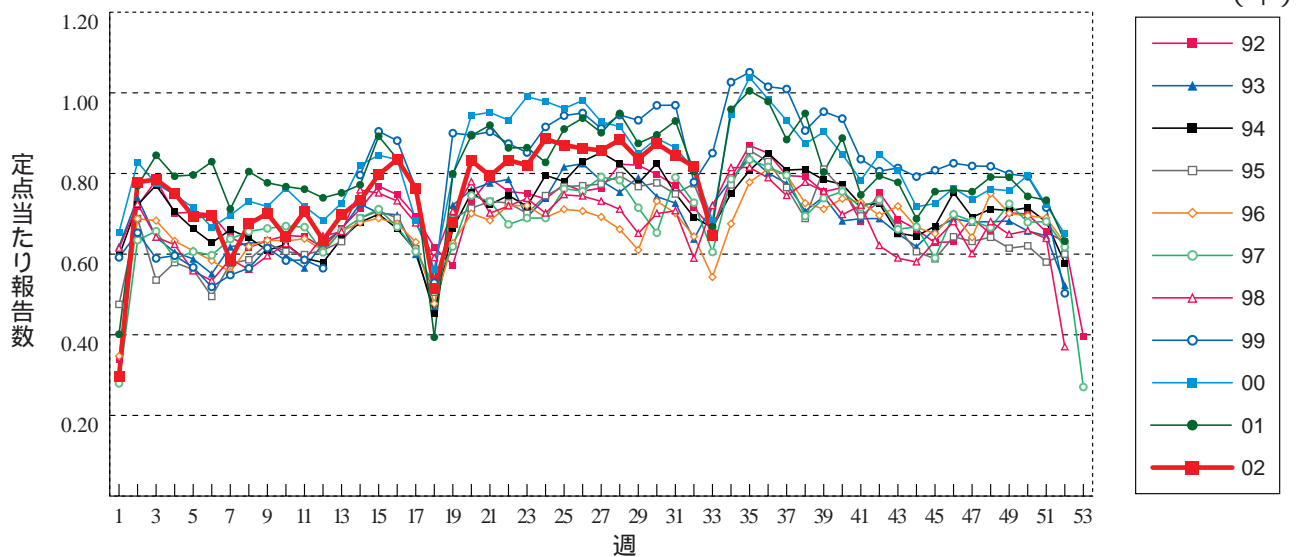
手足口病



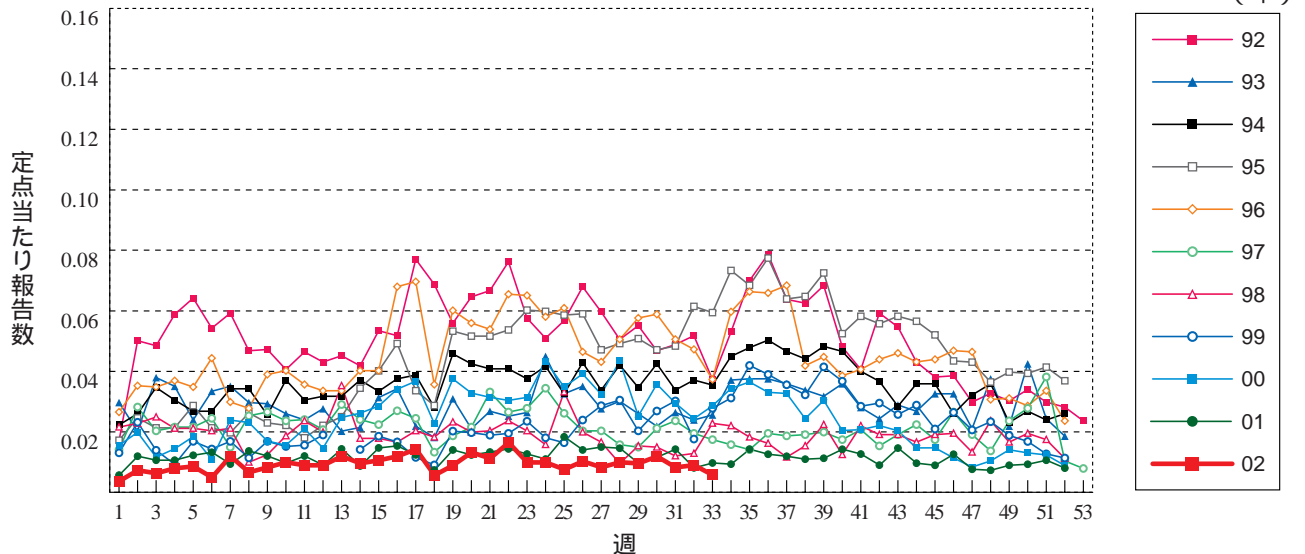
伝染性紅斑



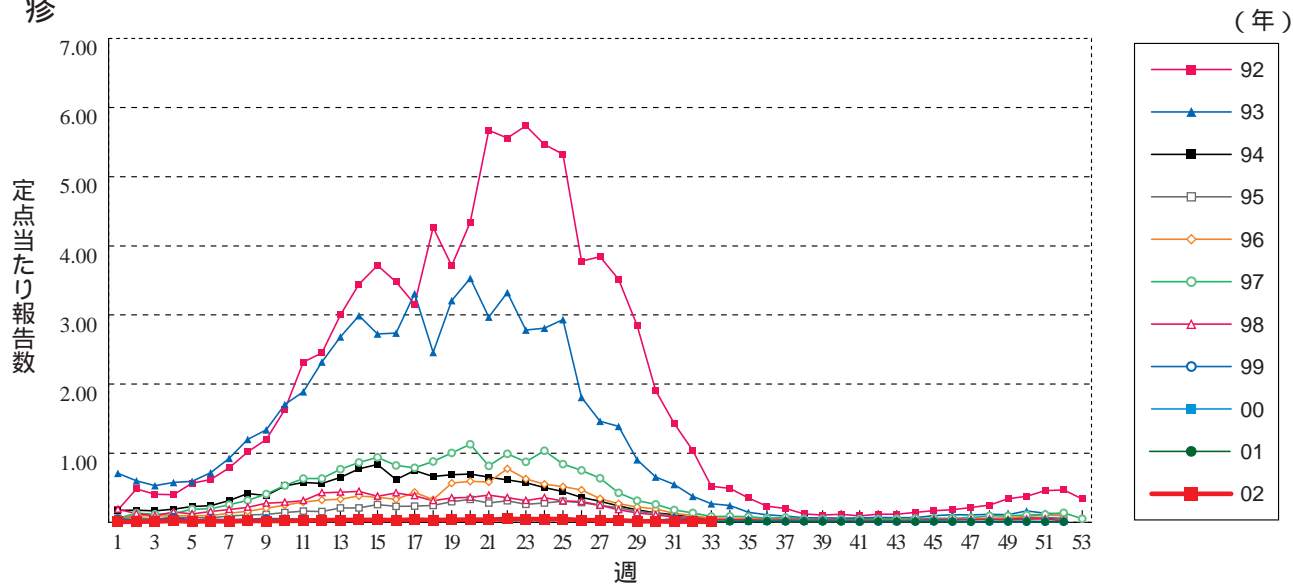
突発性発疹



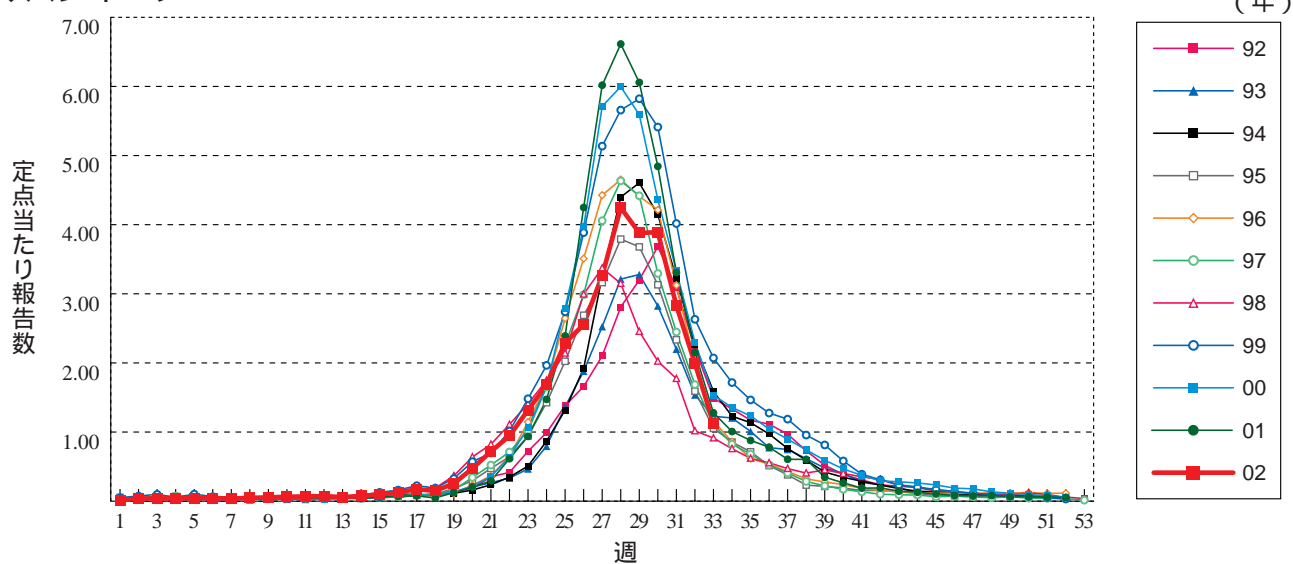
百日咳



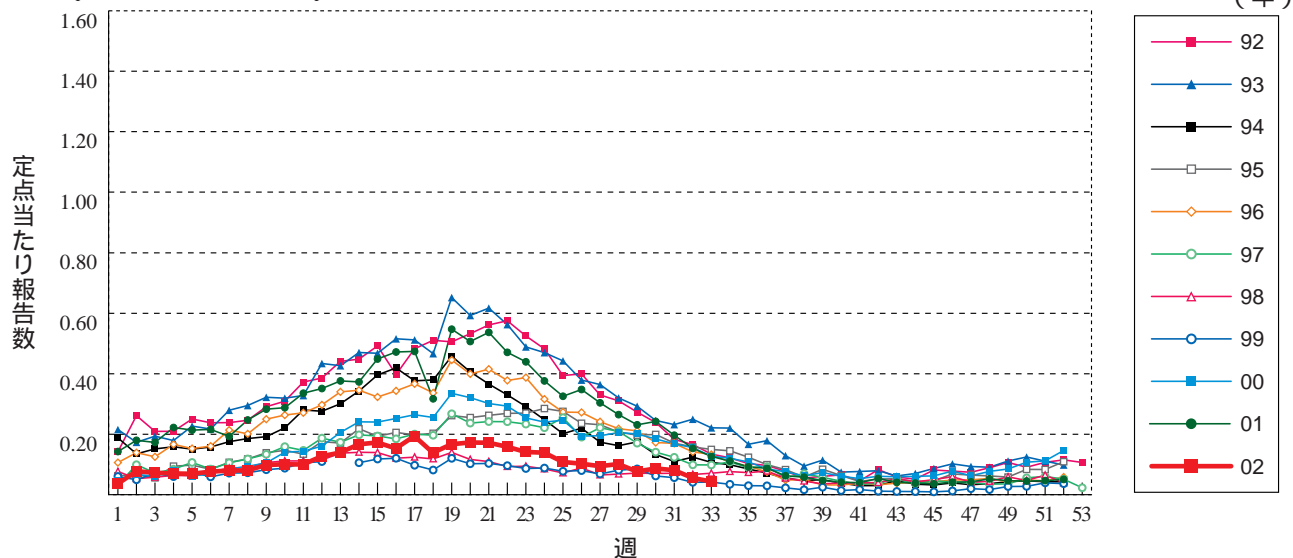
風 疹



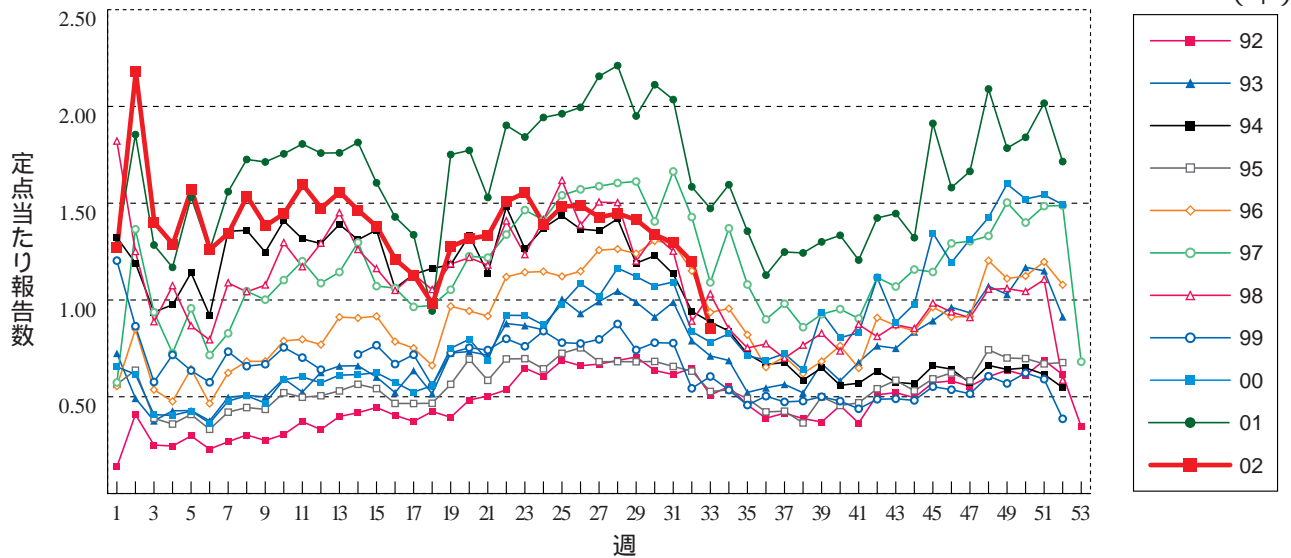
ヘルパンギーナ



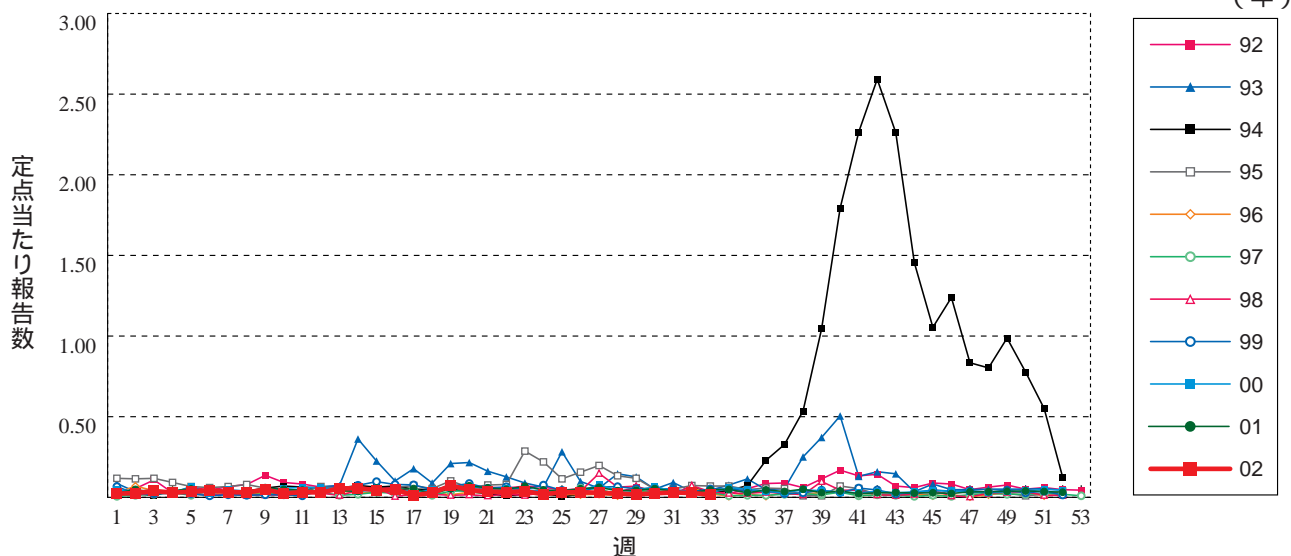
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



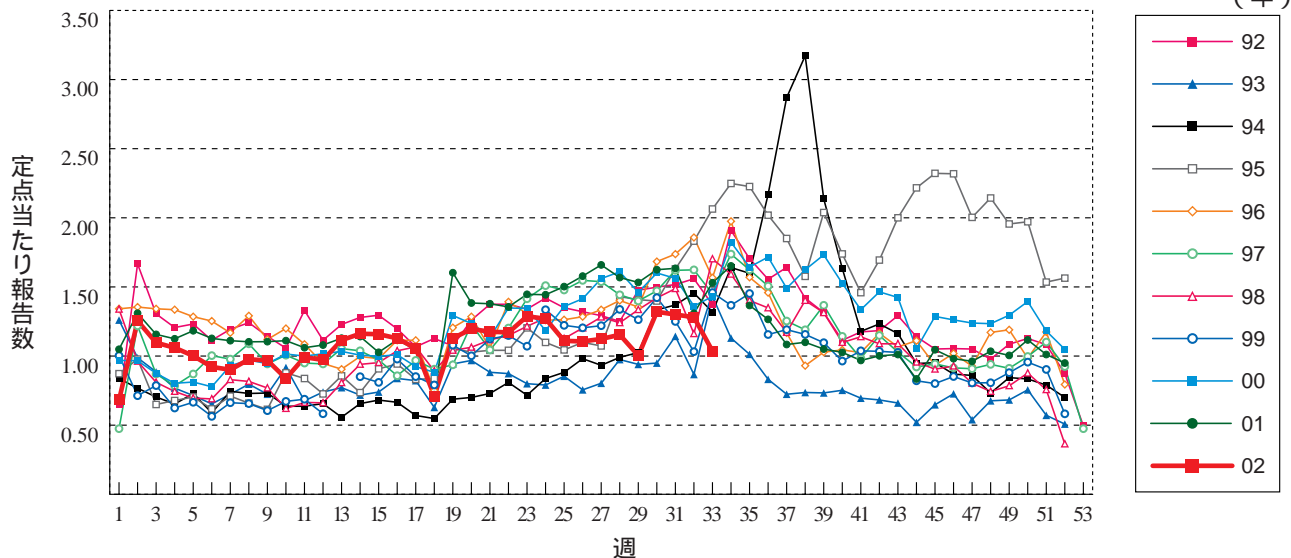
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

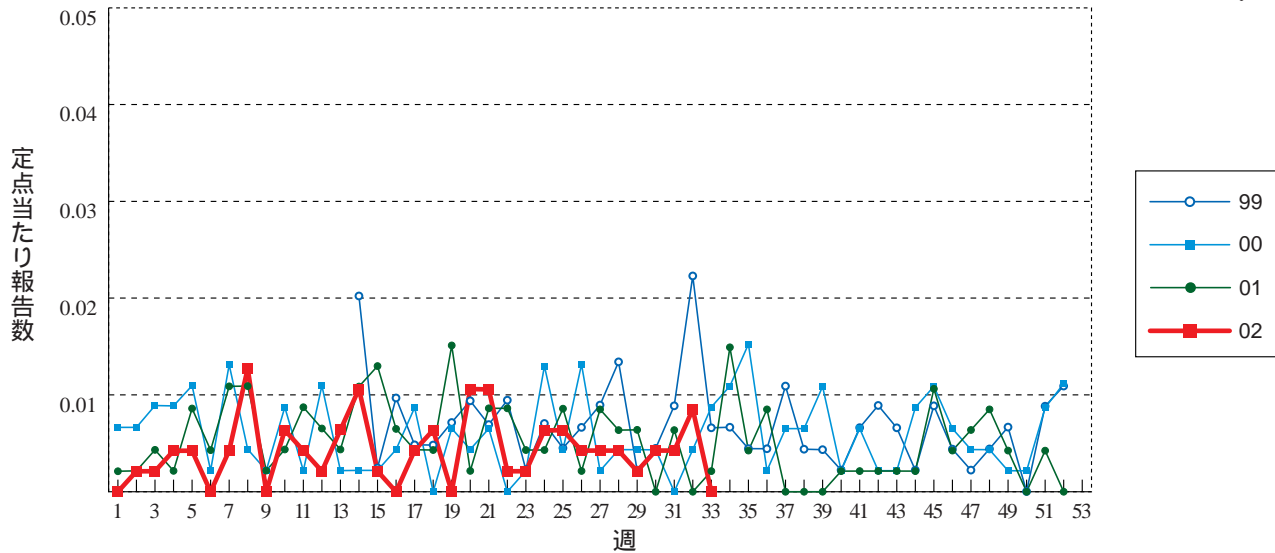


流行性角結膜炎



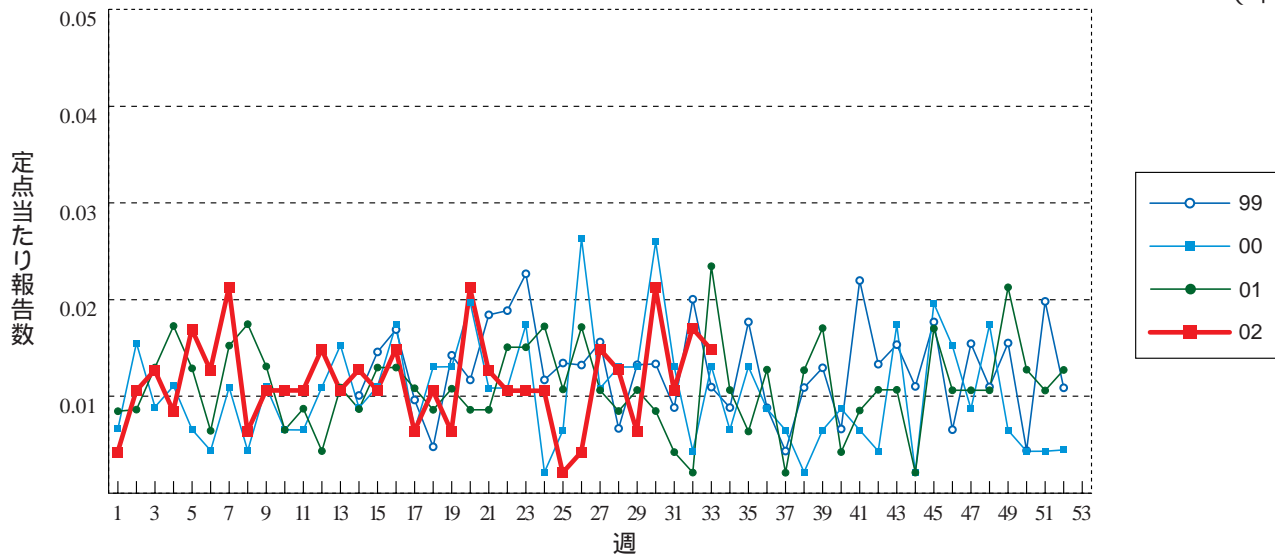
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



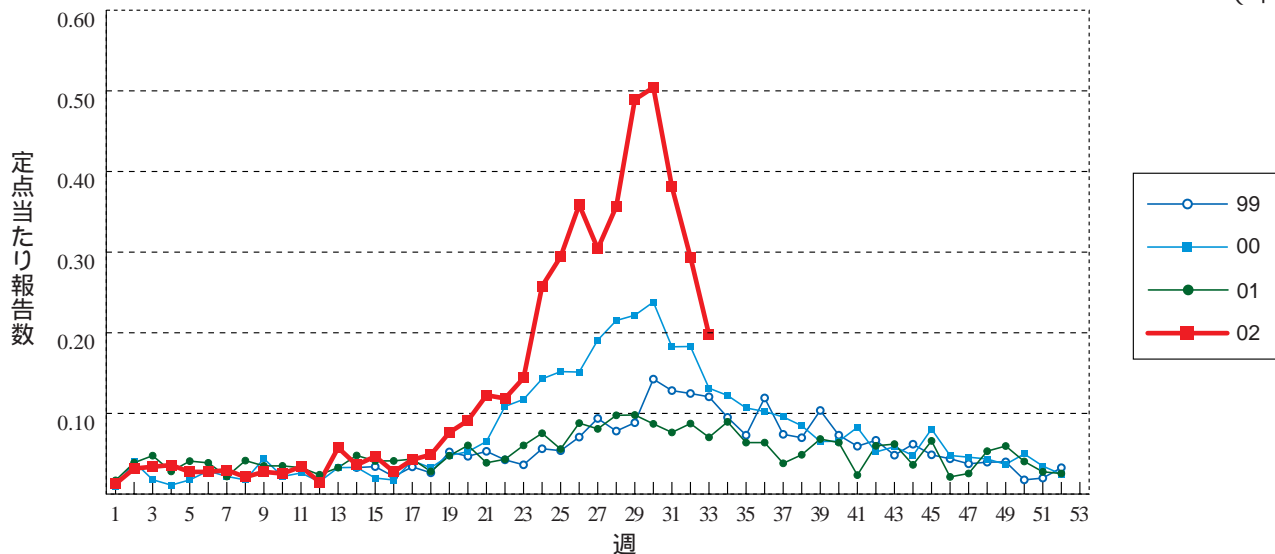
細菌性髄膜炎

(年)

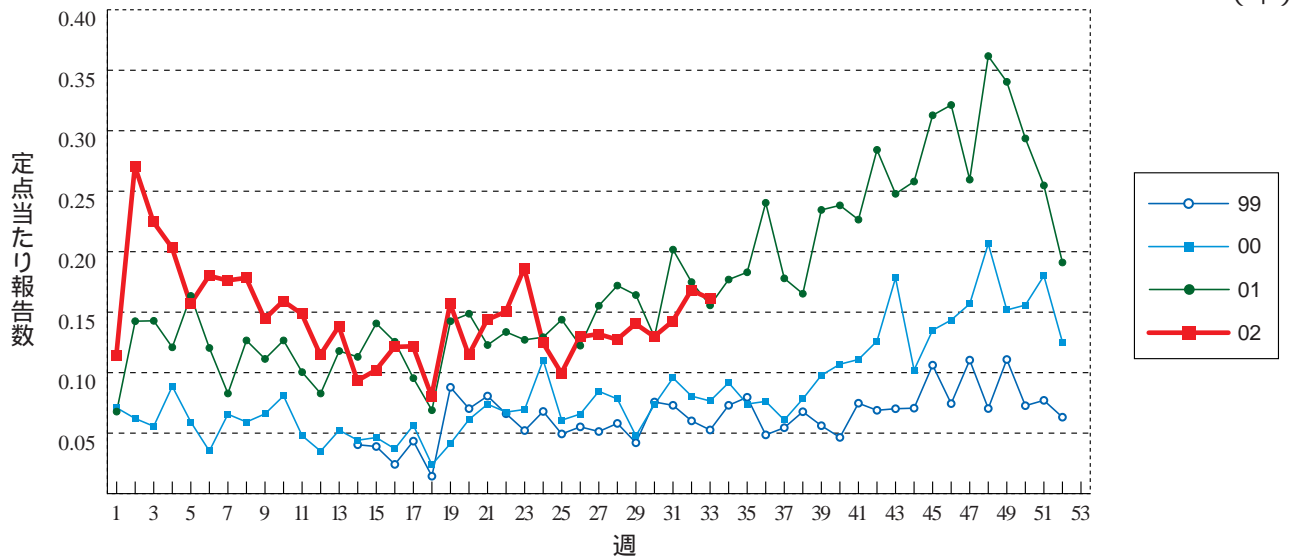


無菌性髄膜炎

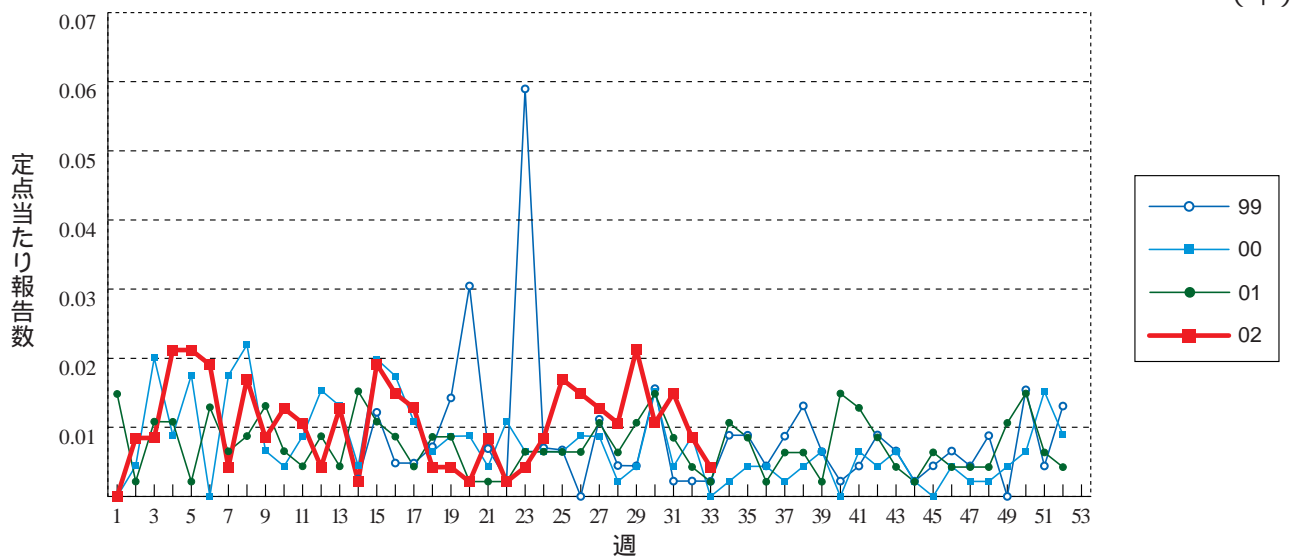
(年)



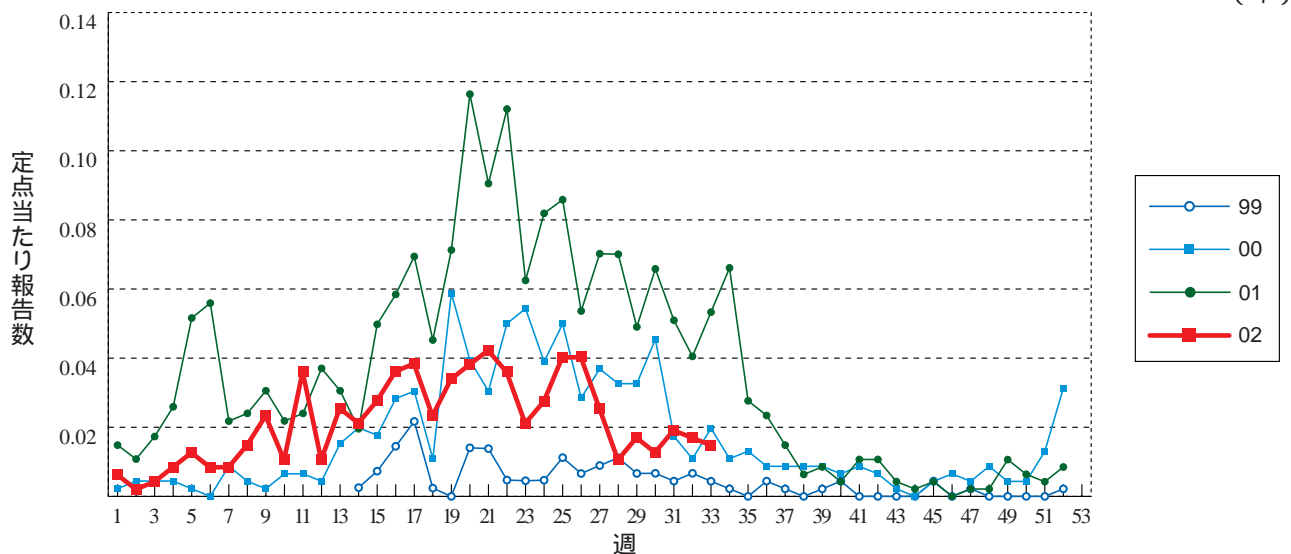
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻疹

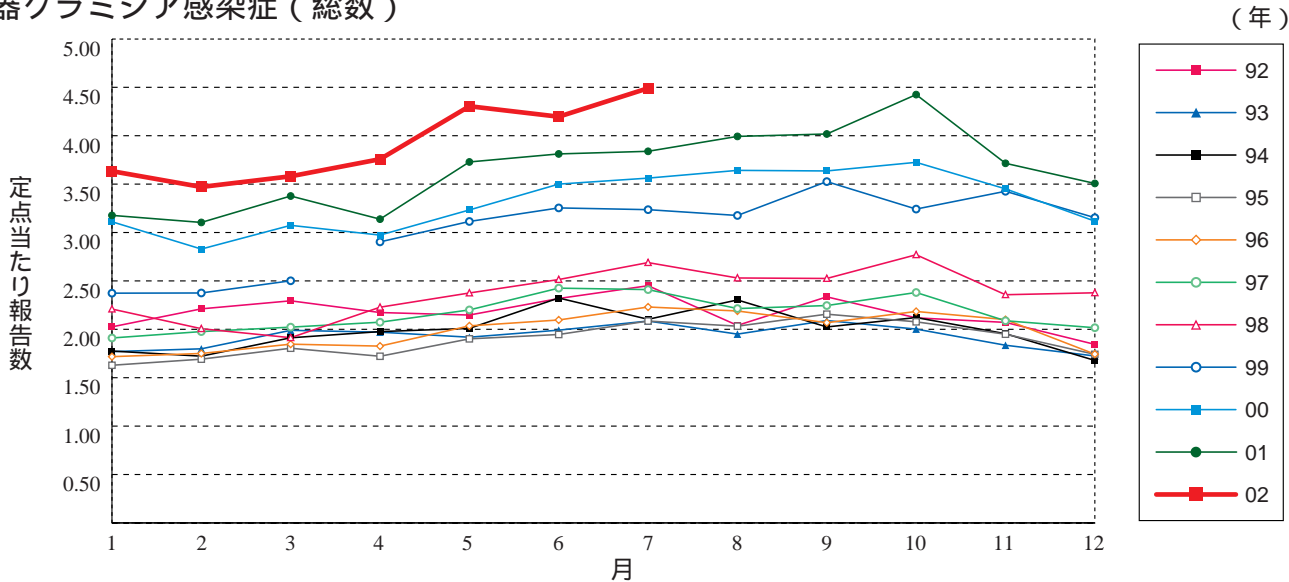




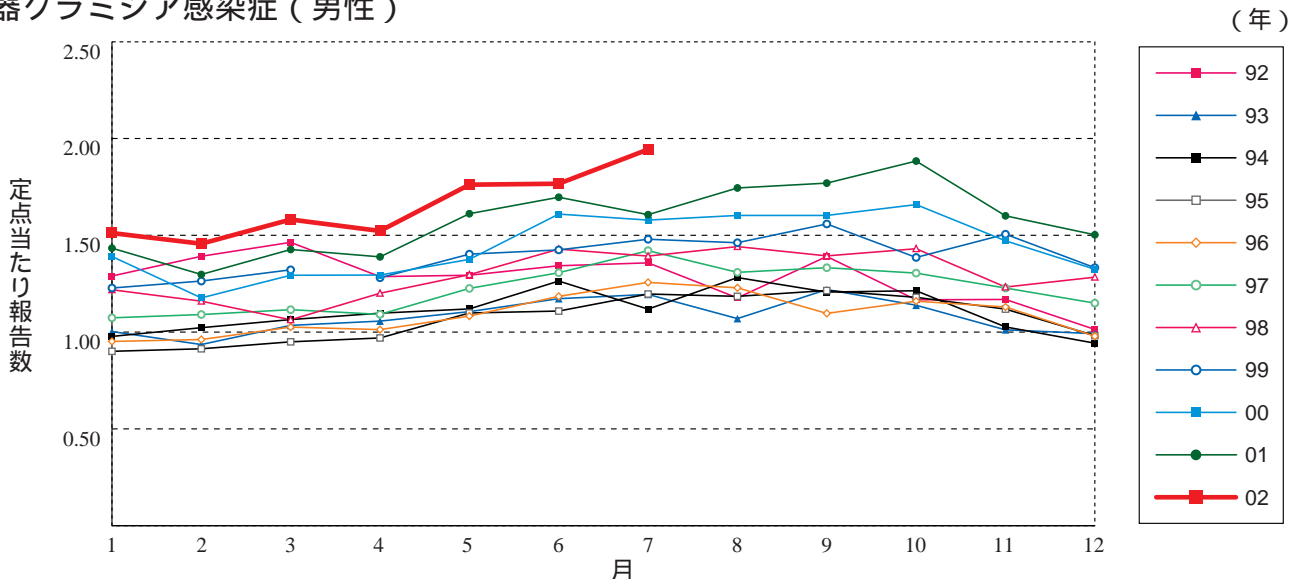
グラフ総覧(7月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

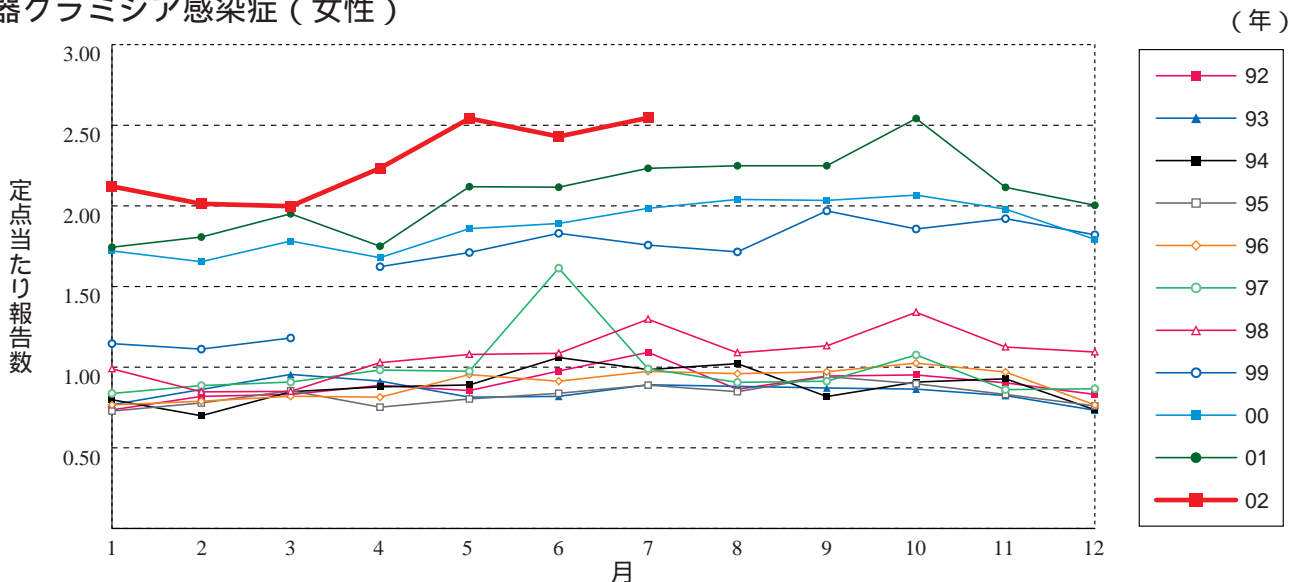
性器クラミジア感染症(総数)



性器クラミジア感染症(男性)

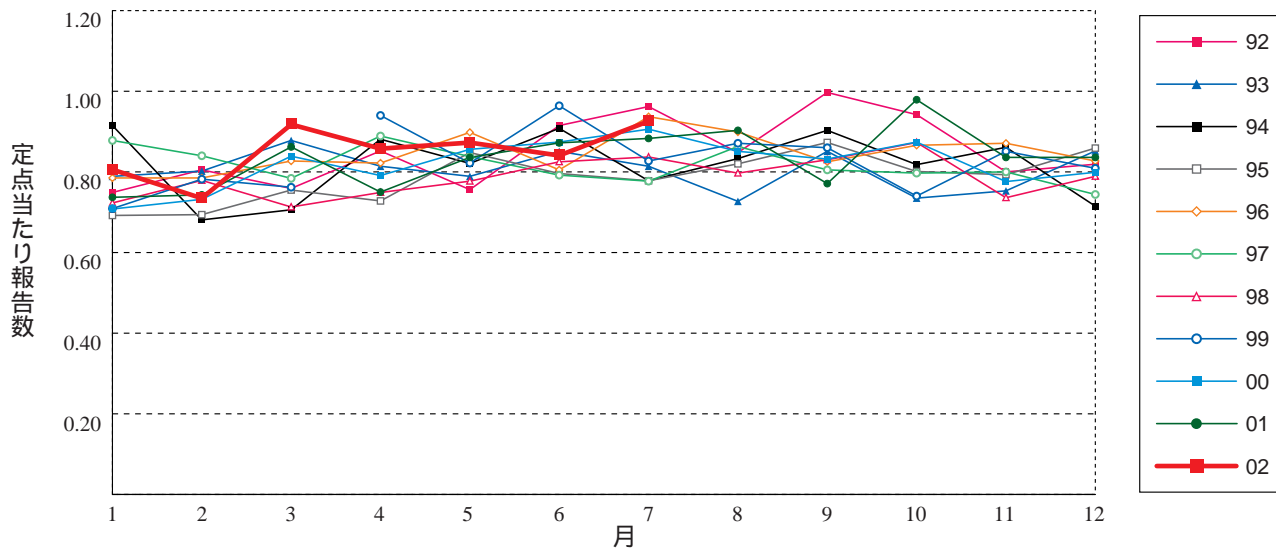


性器クラミジア感染症(女性)



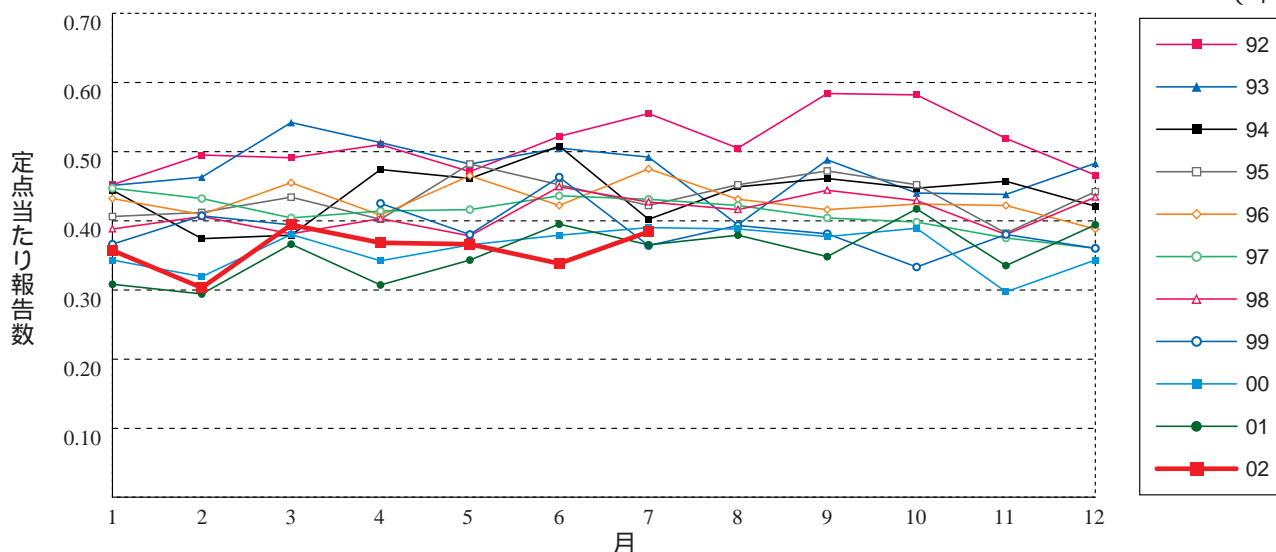
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）

（年）



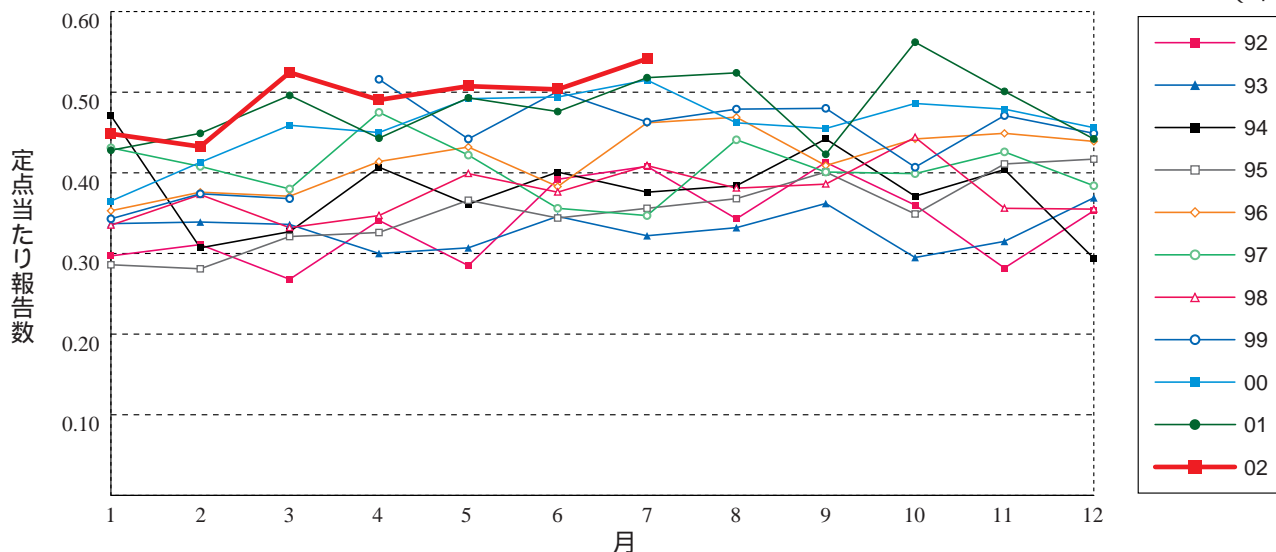
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）

（年）

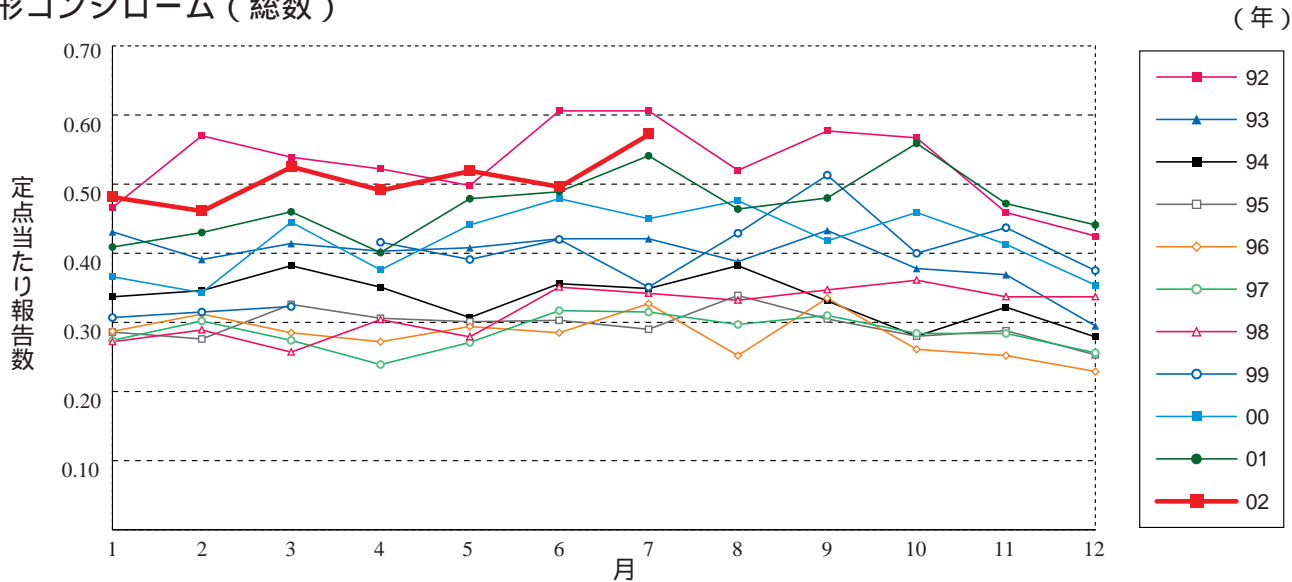


性器ヘルペスウイルス感染症（女性）

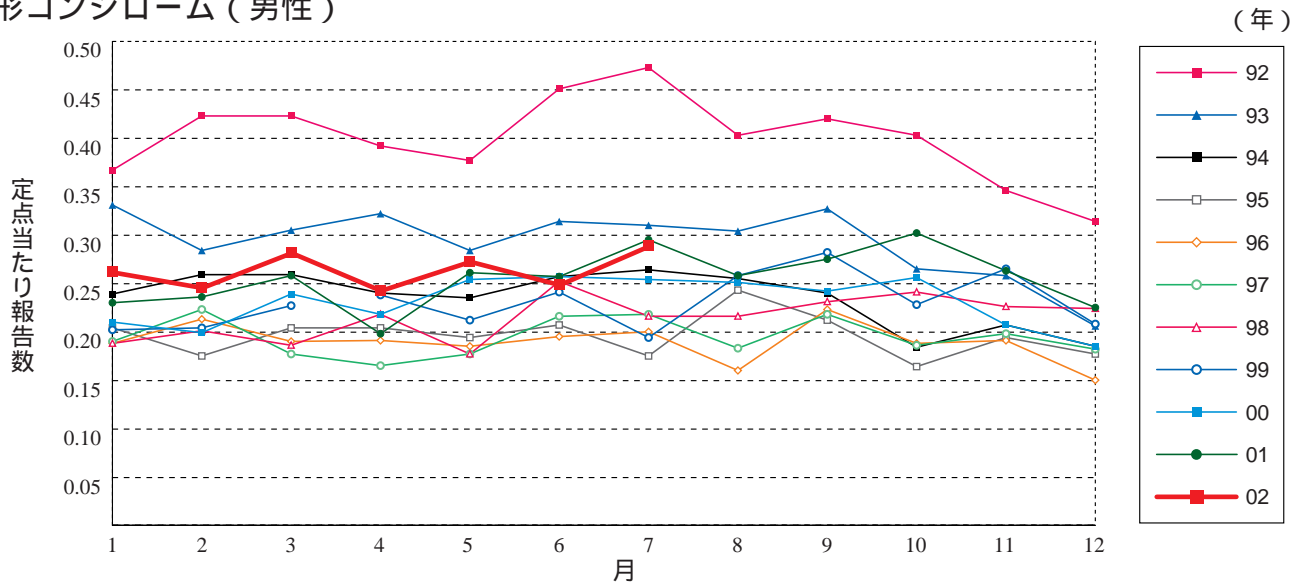
（年）



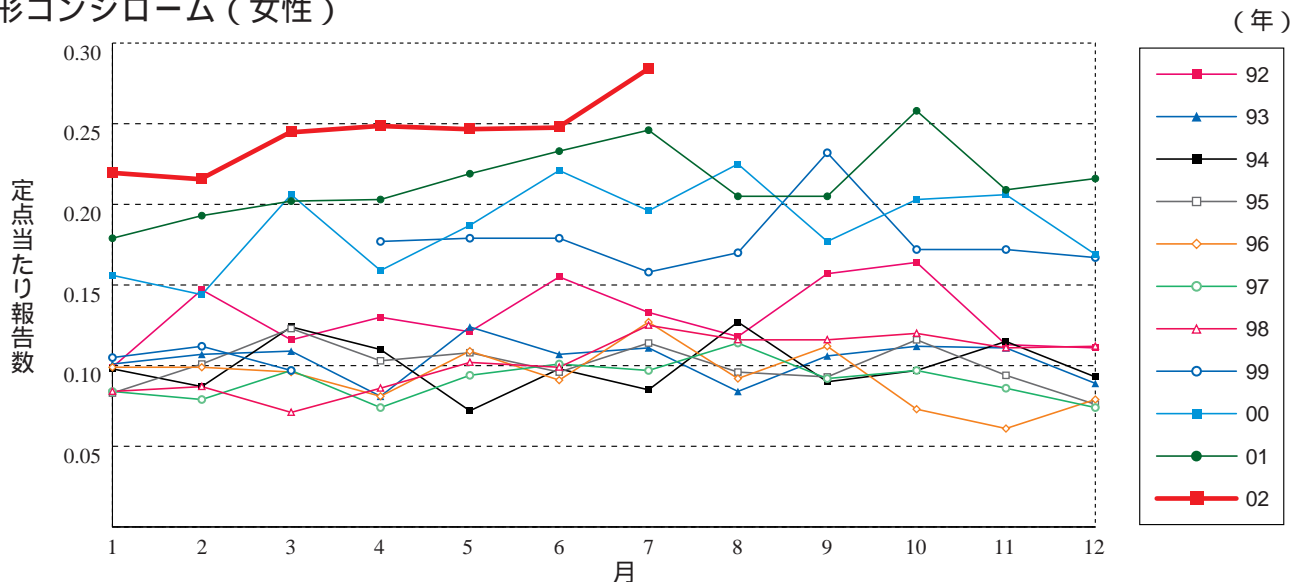
尖形コンジローム (総数)



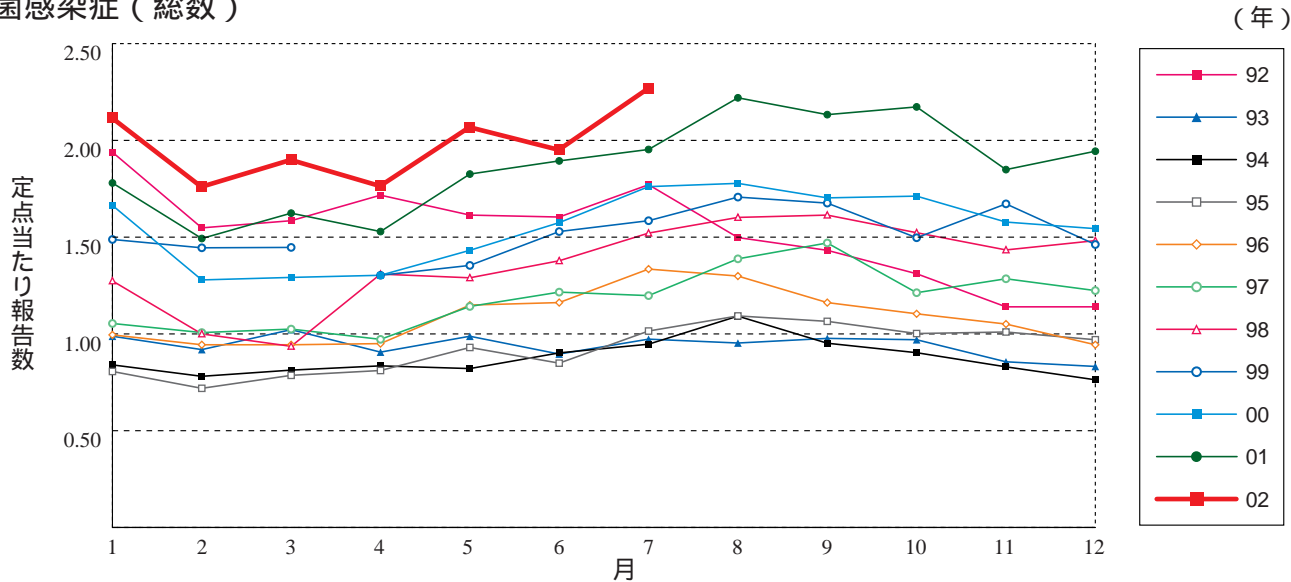
尖形コンジローム (男性)



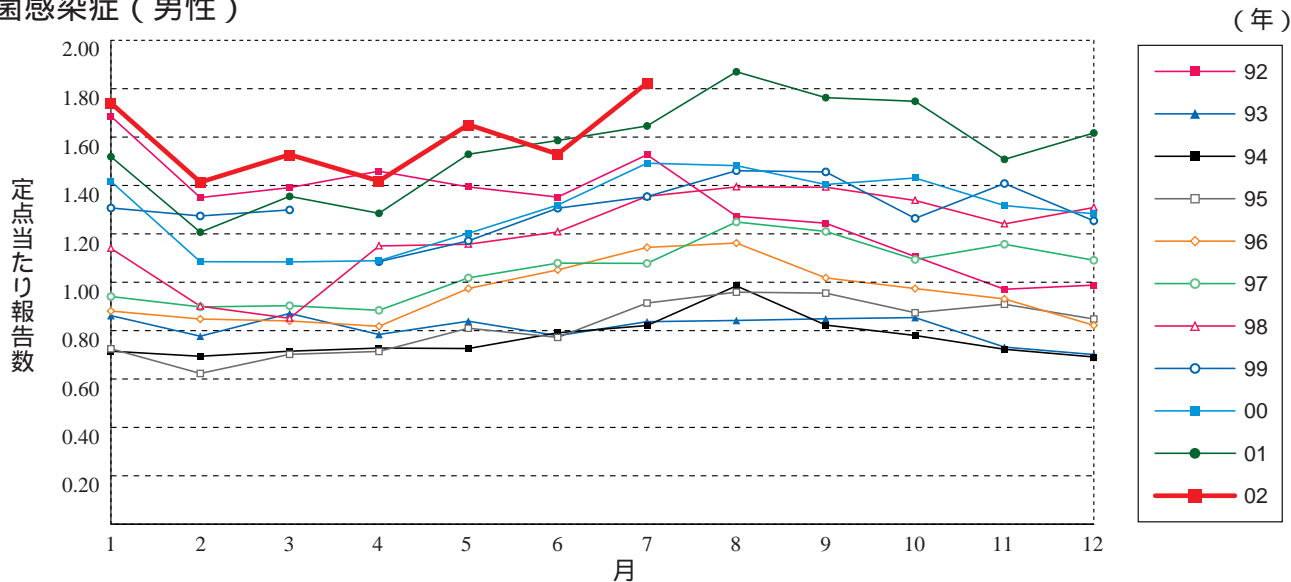
尖形コンジローム (女性)



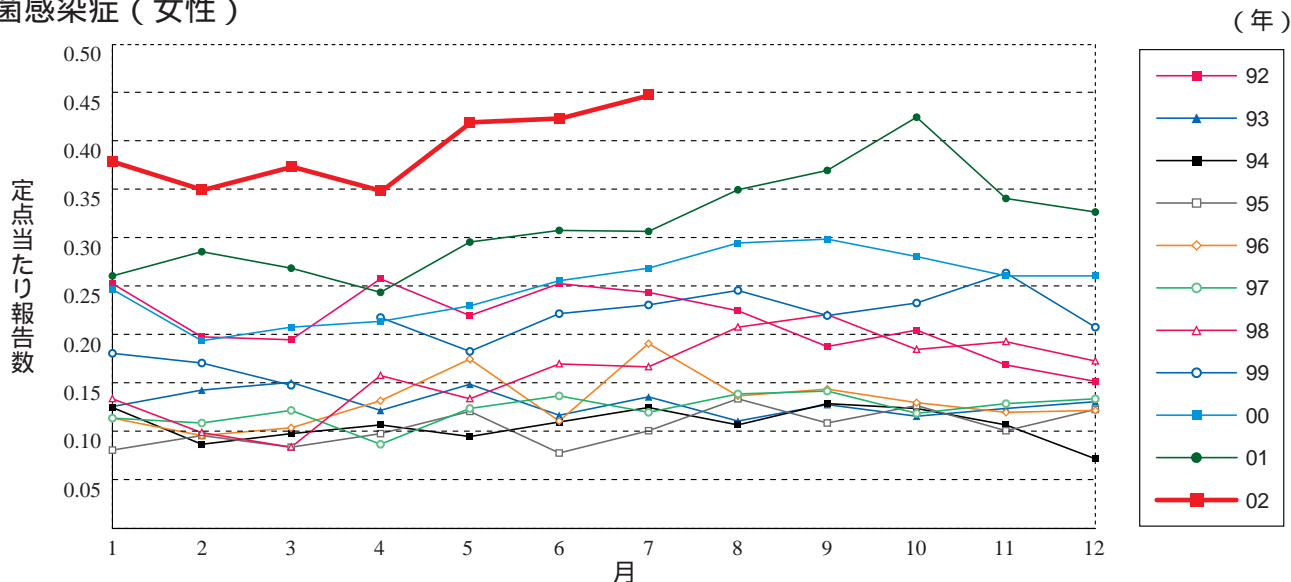
淋菌感染症（総数）



淋菌感染症（男性）

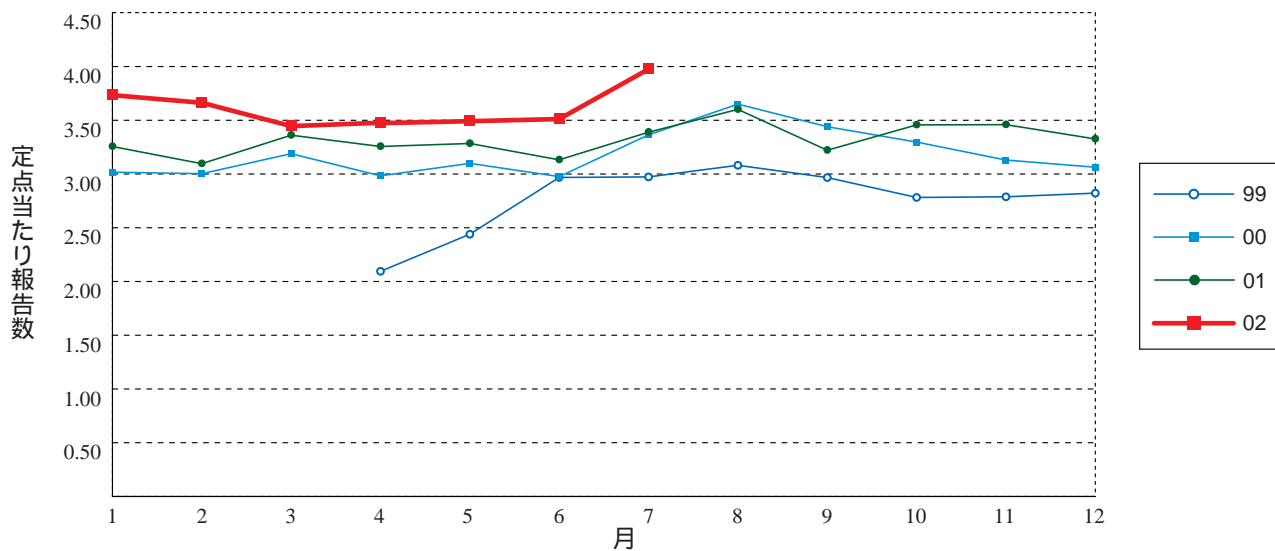


淋菌感染症（女性）



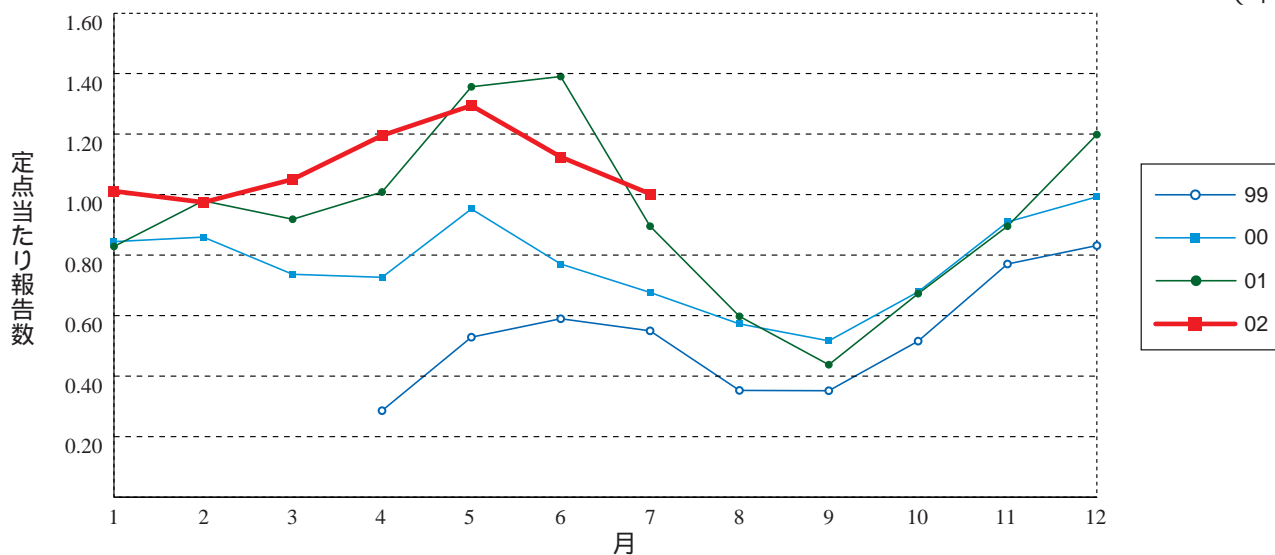
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



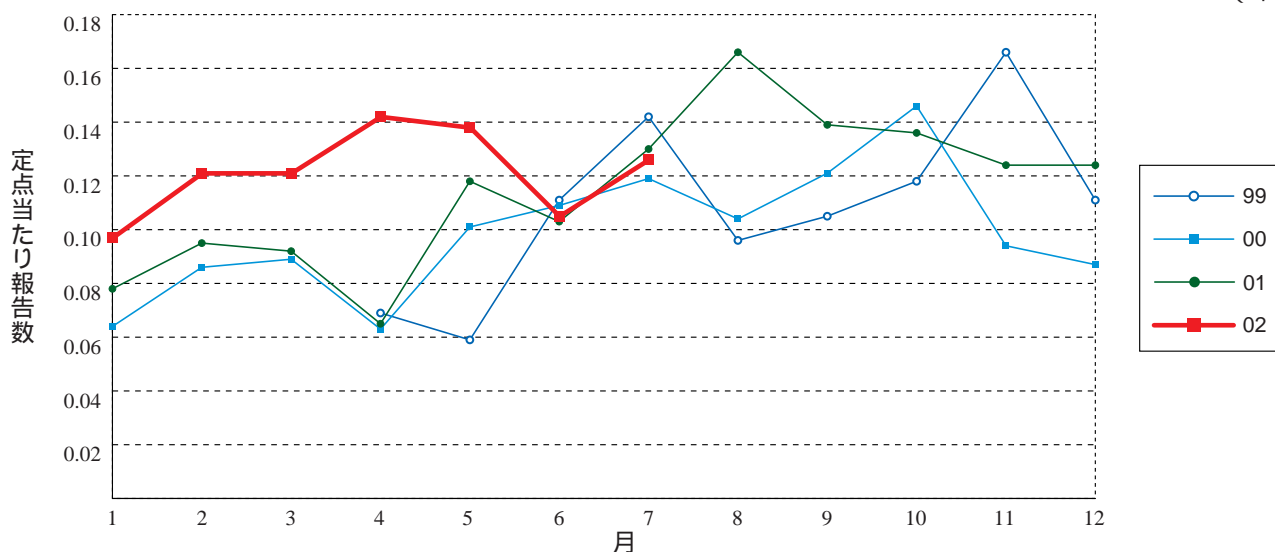
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





7月のデータ 注)8月13日集計分

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成14年7月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	4101	4.49	846	0.93	523	0.57	2072	2.27	1839	3.98	463	1.00	58	0.13
北海道	288	6.86	49	1.17	33	0.79	148	3.52	23	1.05	11	0.50	3	0.14
青森県	64	5.33	12	1.00	4	0.33	38	3.17	11	1.83	-	-	-	-
岩手県	90	6.92	23	1.77	14	1.08	32	2.46	81	4.05	20	1.00	6	0.30
宮城県	99	5.50	23	1.28	16	0.89	40	2.22	71	5.92	12	1.00	3	0.25
秋田県	33	2.36	4	0.29	2	0.14	17	1.21	11	1.38	11	1.38	-	-
山形県	36	3.60	4	0.40	4	0.40	10	1.00	52	5.20	16	1.60	1	0.10
福島県	56	3.50	5	0.31	8	0.50	51	3.19	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	103	4.90	19	0.90	16	0.76	58	2.76	19	1.73	1	0.09	3	0.27
栃木県	98	6.13	5	0.31	6	0.38	50	3.13	36	5.14	1	0.14	-	-
群馬県	164	6.56	19	0.76	18	0.72	52	2.08	50	5.00	5	0.50	1	0.10
埼玉県	215	4.30	34	0.68	15	0.30	85	1.70	26	2.89	4	0.44	-	-
千葉県	141	3.62	39	1.00	26	0.67	75	1.92	54	6.00	64	7.11	1	0.11
東京都	242	5.90	104	2.54	37	0.90	126	3.07	160	7.62	52	2.48	6	0.29
神奈川県	181	3.02	40	0.67	11	0.18	82	1.37	29	2.64	19	1.73	-	-
新潟県	53	2.65	13	0.65	10	0.50	47	2.35	52	4.33	14	1.17	-	-
富山県	20	2.86	7	1.00	2	0.29	21	3.00	52	10.40	16	3.20	-	-
石川県	20	2.00	4	0.40	3	0.30	12	1.20	11	2.20	2	0.40	-	-
福井県	13	2.60	4	0.80	3	0.60	5	1.00	27	4.50	16	2.67	-	-
山梨県	12	2.00	-	-	-	-	6	1.00	15	1.50	4	0.40	-	-
長野県	74	4.63	8	0.50	9	0.56	23	1.44	31	2.82	9	0.82	-	-
岐阜県	26	1.73	6	0.40	7	0.47	25	1.67	18	3.60	-	-	-	-
静岡県	103	3.43	18	0.60	7	0.23	38	1.27	42	4.20	10	1.00	2	0.20
愛知県	238	4.67	34	0.67	30	0.59	186	3.65	57	4.38	-	-	3	0.23
三重県	28	2.15	2	0.15	4	0.31	15	1.15	56	7.00	2	0.25	3	0.38
滋賀県	16	1.78	3	0.33	5	0.56	1	0.11	41	6.83	-	-	-	-
京都府	135	6.75	14	0.70	3	0.15	16	0.80	6	0.86	-	-	1	0.14
大阪府	380	6.44	160	2.71	88	1.49	271	4.59	47	3.36	18	1.29	2	0.14
兵庫県	130	2.83	16	0.35	18	0.39	40	0.87	35	2.50	11	0.79	-	-
奈良県	29	3.22	10	1.11	1	0.11	23	2.56	41	6.83	4	0.67	3	0.50
和歌山県	4	0.50	8	1.00	4	0.50	2	0.25	37	3.36	4	0.36	2	0.18
鳥取県	33	6.60	2	0.40	3	0.60	5	1.00	30	6.00	-	-	1	0.20
島根県	9	1.50	3	0.50	-	-	8	1.33	35	4.38	32	4.00	-	-
岡山県	125	9.62	14	1.08	11	0.85	62	4.77	3	1.00	2	0.67	-	-
広島県	59	2.19	15	0.56	12	0.44	27	1.00	128	6.10	34	1.62	8	0.38
山口県	37	3.08	12	1.00	5	0.42	22	1.83	96	12.00	10	1.25	3	0.38
徳島県	11	1.83	-	-	-	-	-	-	16	2.29	-	-	-	-
香川県	40	4.44	4	0.44	4	0.44	12	1.33	26	5.20	5	1.00	-	-
愛媛県	39	3.55	1	0.09	6	0.55	17	1.55	9	1.50	-	-	-	-
高知県	10	1.67	1	0.17	-	-	7	1.17	72	9.00	17	2.13	-	-
福岡県	292	7.89	55	1.49	38	1.03	156	4.22	34	2.13	7	0.44	-	-
佐賀県	21	3.00	1	0.14	-	-	17	2.43	17	2.83	4	0.67	-	-
長崎県	16	1.60	7	0.70	3	0.30	6	0.60	4	0.33	-	-	-	-
熊本県	81	5.79	9	0.64	11	0.79	16	1.14	68	4.53	6	0.40	1	0.07
大分県	25	2.50	17	1.70	4	0.40	11	1.10	30	3.00	9	0.90	4	0.40
宮崎県	77	7.00	4	0.36	6	0.55	46	4.18	28	4.00	2	0.29	-	-
鹿児島県	80	5.00	13	0.81	10	0.63	51	3.19	17	1.42	2	0.17	1	0.08
沖縄県	55	4.58	1	0.08	6	0.50	14	1.17	33	4.71	7	1.00	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成14年7月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1776	1.95	351	0.38	264	0.29	1663	1.82	1166	2.52	268	0.58	41	0.09
北海道	84	2.00	6	0.14	12	0.29	74	1.76	12	0.55	6	0.27	3	0.14
青森県	25	2.08	8	0.67	4	0.33	25	2.08	10	1.67	-	-	-	-
岩手県	35	2.69	6	0.46	10	0.77	30	2.31	58	2.90	8	0.40	4	0.20
宮城県	60	3.33	7	0.39	9	0.50	39	2.17	41	3.42	8	0.67	2	0.17
秋田県	15	1.07	-	-	-	-	8	0.57	7	0.88	4	0.50	-	-
山形県	19	1.90	3	0.30	1	0.10	8	0.80	35	3.50	7	0.70	1	0.10
福島県	26	1.63	4	0.25	3	0.19	47	2.94	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	50	2.38	11	0.52	12	0.57	51	2.43	15	1.36	1	0.09	2	0.18
栃木県	50	3.13	4	0.25	2	0.13	46	2.88	20	2.86	1	0.14	-	-
群馬県	86	3.44	12	0.48	4	0.16	38	1.52	38	3.80	4	0.40	1	0.10
埼玉県	76	1.52	15	0.30	4	0.08	70	1.40	13	1.44	3	0.33	-	-
千葉県	58	1.49	16	0.41	14	0.36	67	1.72	33	3.67	35	3.89	1	0.11
東京都	107	2.61	47	1.15	23	0.56	89	2.17	107	5.10	32	1.52	4	0.19
神奈川県	101	1.68	18	0.30	6	0.10	78	1.30	19	1.73	11	1.00	-	-
新潟県	30	1.50	5	0.25	8	0.40	43	2.15	29	2.42	7	0.58	-	-
富山県	12	1.71	4	0.57	-	-	21	3.00	33	6.60	14	2.80	-	-
石川県	13	1.30	2	0.20	3	0.30	11	1.10	8	1.60	1	0.20	-	-
福井県	2	0.40	3	0.60	3	0.60	5	1.00	18	3.00	8	1.33	-	-
山梨県	3	0.50	-	-	-	-	6	1.00	12	1.20	3	0.30	-	-
長野県	20	1.25	3	0.19	4	0.25	20	1.25	19	1.73	8	0.73	-	-
岐阜県	14	0.93	4	0.27	7	0.47	24	1.60	8	1.60	-	-	-	-
静岡県	34	1.13	5	0.17	5	0.17	26	0.87	25	2.50	6	0.60	2	0.20
愛知県	142	2.78	17	0.33	26	0.51	168	3.29	43	3.31	-	-	3	0.23
三重県	14	1.08	1	0.08	4	0.31	15	1.15	36	4.50	2	0.25	2	0.25
滋賀県	6	0.67	3	0.33	2	0.22	1	0.11	23	3.83	-	-	-	-
京都府	17	0.85	-	-	2	0.10	12	0.60	2	0.29	-	-	1	0.14
大阪府	144	2.44	72	1.22	46	0.78	197	3.34	25	1.79	11	0.79	1	0.07
兵庫県	71	1.54	6	0.13	10	0.22	35	0.76	27	1.93	6	0.43	-	-
奈良県	22	2.44	7	0.78	1	0.11	20	2.22	33	5.50	3	0.50	2	0.33
和歌山県	2	0.25	6	0.75	3	0.38	2	0.25	25	2.27	3	0.27	2	0.18
鳥取県	8	1.60	-	-	-	-	4	0.80	17	3.40	-	-	1	0.20
島根県	4	0.67	2	0.33	-	-	7	1.17	16	2.00	14	1.75	-	-
岡山県	41	3.15	-	-	1	0.08	46	3.54	1	0.33	1	0.33	-	-
広島県	26	0.96	5	0.19	3	0.11	23	0.85	79	3.76	18	0.86	4	0.19
山口県	24	2.00	4	0.33	1	0.08	19	1.58	60	7.50	5	0.63	2	0.25
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1.57	-	-	-	-
香川県	9	1.00	1	0.11	3	0.33	12	1.33	14	2.80	2	0.40	-	-
愛媛県	9	0.82	-	-	3	0.27	15	1.36	4	0.67	-	-	-	-
高知県	6	1.00	-	-	-	-	7	1.17	49	6.13	11	1.38	-	-
福岡県	134	3.62	22	0.59	13	0.35	123	3.32	17	1.06	6	0.38	-	-
佐賀県	18	2.57	-	-	-	-	17	2.43	10	1.67	3	0.50	-	-
長崎県	6	0.60	2	0.20	-	-	5	0.50	3	0.25	-	-	-	-
熊本県	26	1.86	7	0.50	3	0.21	10	0.71	36	2.40	4	0.27	-	-
大分県	13	1.30	6	0.60	2	0.20	8	0.80	23	2.30	5	0.50	3	0.30
宮崎県	48	4.36	1	0.09	3	0.27	43	3.91	20	2.86	2	0.29	-	-
鹿児島県	61	3.81	6	0.38	3	0.19	46	2.88	12	1.00	-	-	-	-
沖縄県	5	0.42	-	-	1	0.08	2	0.17	19	2.71	5	0.71	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成14年7月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	2325	2.55	495	0.54	259	0.28	409	0.45	673	1.46	195	0.42	17	0.04
北海道	204	4.86	43	1.02	21	0.50	74	1.76	11	0.50	5	0.23	-	-
青森県	39	3.25	4	0.33	-	-	13	1.08	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	55	4.23	17	1.31	4	0.31	2	0.15	23	1.15	12	0.60	2	0.10
宮城県	39	2.17	16	0.89	7	0.39	1	0.06	30	2.50	4	0.33	1	0.08
秋田県	18	1.29	4	0.29	2	0.14	9	0.64	4	0.50	7	0.88	-	-
山形県	17	1.70	1	0.10	3	0.30	2	0.20	17	1.70	9	0.90	-	-
福島県	30	1.88	1	0.06	5	0.31	4	0.25	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	53	2.52	8	0.38	4	0.19	7	0.33	4	0.36	-	-	1	0.09
栃木県	48	3.00	1	0.06	4	0.25	4	0.25	16	2.29	-	-	-	-
群馬県	78	3.12	7	0.28	14	0.56	14	0.56	12	1.20	1	0.10	-	-
埼玉県	139	2.78	19	0.38	11	0.22	15	0.30	13	1.44	1	0.11	-	-
千葉県	83	2.13	23	0.59	12	0.31	8	0.21	21	2.33	29	3.22	-	-
東京都	135	3.29	57	1.39	14	0.34	37	0.90	53	2.52	20	0.95	2	0.10
神奈川県	80	1.33	22	0.37	5	0.08	4	0.07	10	0.91	8	0.73	-	-
新潟県	23	1.15	8	0.40	2	0.10	4	0.20	23	1.92	7	0.58	-	-
富山県	8	1.14	3	0.43	2	0.29	-	-	19	3.80	2	0.40	-	-
石川県	7	0.70	2	0.20	-	-	1	0.10	3	0.60	1	0.20	-	-
福井県	11	2.20	1	0.20	-	-	-	-	9	1.50	8	1.33	-	-
山梨県	9	1.50	-	-	-	-	-	-	3	0.30	1	0.10	-	-
長野県	54	3.38	5	0.31	5	0.31	3	0.19	12	1.09	1	0.09	-	-
岐阜県	12	0.80	2	0.13	-	-	1	0.07	10	2.00	-	-	-	-
静岡県	69	2.30	13	0.43	2	0.07	12	0.40	17	1.70	4	0.40	-	-
愛知県	96	1.88	17	0.33	4	0.08	18	0.35	14	1.08	-	-	-	-
三重県	14	1.08	1	0.08	-	-	-	-	20	2.50	-	-	1	0.13
滋賀県	10	1.11	-	-	3	0.33	-	-	18	3.00	-	-	-	-
京都府	118	5.90	14	0.70	1	0.05	4	0.20	4	0.57	-	-	-	-
大阪府	236	4.00	88	1.49	42	0.71	74	1.25	22	1.57	7	0.50	1	0.07
兵庫県	59	1.28	10	0.22	8	0.17	5	0.11	8	0.57	5	0.36	-	-
奈良県	7	0.78	3	0.33	-	-	3	0.33	8	1.33	1	0.17	1	0.17
和歌山県	2	0.25	2	0.25	1	0.13	-	-	12	1.09	1	0.09	-	-
鳥取県	25	5.00	2	0.40	3	0.60	1	0.20	13	2.60	-	-	-	-
島根県	5	0.83	1	0.17	-	-	1	0.17	19	2.38	18	2.25	-	-
岡山県	84	6.46	14	1.08	10	0.77	16	1.23	2	0.67	1	0.33	-	-
広島県	33	1.22	10	0.37	9	0.33	4	0.15	49	2.33	16	0.76	4	0.19
山口県	13	1.08	8	0.67	4	0.33	3	0.25	36	4.50	5	0.63	1	0.13
徳島県	11	1.83	-	-	-	-	-	-	5	0.71	-	-	-	-
香川県	31	3.44	3	0.33	1	0.11	-	-	12	2.40	3	0.60	-	-
愛媛県	30	2.73	1	0.09	3	0.27	2	0.18	5	0.83	-	-	-	-
高知県	4	0.67	1	0.17	-	-	-	-	23	2.88	6	0.75	-	-
福岡県	158	4.27	33	0.89	25	0.68	33	0.89	17	1.06	1	0.06	-	-
佐賀県	3	0.43	1	0.14	-	-	-	-	7	1.17	1	0.17	-	-
長崎県	10	1.00	5	0.50	3	0.30	1	0.10	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	55	3.93	2	0.14	8	0.57	6	0.43	32	2.13	2	0.13	1	0.07
大分県	12	1.20	11	1.10	2	0.20	3	0.30	7	0.70	4	0.40	1	0.10
宮崎県	29	2.64	3	0.27	3	0.27	3	0.27	8	1.14	-	-	-	-
鹿児島県	19	1.19	7	0.44	7	0.44	5	0.31	5	0.42	2	0.17	1	0.08
沖縄県	50	4.17	1	0.08	5	0.42	12	1.00	14	2.00	2	0.29	-	-

注)8月26日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成14年7月

	結 核
	報告数
総 数	3223
北海道	91
青森県	33
岩手県	22
宮城県	28
秋田県	28
山形県	25
福島県	56
茨城県	67
栃木県	31
群馬県	36
埼玉県	168
千葉県	140
東京都	368
神奈川県	173
新潟県	71
富山県	23
石川県	20
福井県	15
山梨県	16
長野県	22
岐阜県	69
静岡県	78
愛知県	197
三重県	37
滋賀県	26
京都府	90
大阪府	377
兵庫県	185
奈良県	45
和歌山県	39
鳥取県	14
島根県	14
岡山県	44
広島県	46
山口県	34
徳島県	27
香川県	21
愛媛県	38
高知県	14
福岡県	148
佐賀県	17
長崎県	58
熊本県	33
大分県	30
宮崎県	38
鹿児島県	36
沖縄県	35



33週のデータ

注)表中の報告数は8月22日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年33週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	36	10	465	-	41	1	24
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	17	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	70	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	4	56	-	18	-	10
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	23	-	3	1	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	12	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	25	-	3	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	4	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年33週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	235	2015	4	281	1	6	-	-	-	44	-	-	5	685
北海道	-	-	-	-	1	86	-	12	1	5	-	-	-	3	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	2	79	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	6	48	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
秋田県	-	-	-	-	3	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
山形県	-	-	-	-	8	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
福島県	-	-	-	-	1	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
茨城県	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
栃木県	-	-	-	-	93	134	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
群馬県	-	-	-	-	-	25	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
埼玉県	-	-	-	-	7	41	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
千葉県	-	-	-	-	2	110	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40
東京都	-	-	-	-	6	110	1	67	-	-	-	-	-	2	-	-	1	130
神奈川県	-	-	-	-	5	64	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
新潟県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	24	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	9	58	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	-	77	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
岐阜県	-	-	-	-	-	10	-	8	-	-	-	-	-	3	-	-	-	17
静岡県	-	-	-	-	1	27	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	18
愛知県	-	-	-	-	6	64	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36
三重県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	2	8	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	1	41	-	10	-	-	-	-	-	2	-	-	-	17
大阪府	-	-	-	-	13	154	-	43	-	-	-	-	-	3	-	-	1	46
兵庫県	-	-	-	-	12	145	-	16	-	-	-	-	-	2	-	-	-	37
奈良県	-	-	-	-	1	21	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
和歌山県	-	-	-	-	2	16	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	59	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15
広島県	-	-	-	-	-	29	-	2	-	-	-	-	-	8	-	-	1	14
山口県	-	-	-	-	2	13	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
香川県	-	-	-	-	3	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
愛媛県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
高知県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
福岡県	-	-	-	-	14	98	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	25
佐賀県	-	-	-	-	25	152	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	41	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
宮崎県	-	-	-	-	1	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	5	21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
沖縄県	-	-	-	-	1	23	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年33週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	33	-	-	-	104	-	81	2	67	11	550	1	3	4	78	-	-
北海道	-	1	-	-	-	34	-	2	-	4	-	4	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	19	-	-	1	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	13	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1	16	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	5	1	26	1	1	-	4	-	-
東京都	-	27	-	-	-	2	-	6	-	8	1	216	-	-	1	36	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	1	37	-	-	-	6	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	8	-	-	1	3	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	19	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	13	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	6	-	34	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	7	-	-	1	5	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	2	58	-	1	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	-	4	-	5	1	11	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	5	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年33週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	5	-	-	-	-	-	116	1	35	-	8	-	-	-	-	5	339
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14
青森県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	1	11	-	-	-	-	-	-	1	33
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	16
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	17
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	1	70
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	1	18
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
広島県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
大分県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年33週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	58	1	24	-	-	-	-	-	1	-	-	-	49	-	9	5	97
北海道	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
栃木県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	4
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	4	-	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	15	-	1	1	10
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
愛知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	1	9
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
広島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年33週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	21	0.00	481	0.16	720	0.24	4626	1.56	2152	0.72	2269	0.76	408	0.14	1917	0.65	17	0.01
北海道	-	-	21	0.14	59	0.41	123	0.85	149	1.03	196	1.35	70	0.48	89	0.61	1	0.01
青森県	-	-	11	0.26	2	0.05	35	0.83	67	1.60	49	1.17	23	0.55	22	0.52	2	0.05
岩手県	1	0.02	-	-	6	0.16	18	0.47	37	0.97	68	1.79	-	-	15	0.39	-	-
宮城県	-	-	1	0.02	4	0.07	44	0.75	39	0.66	49	0.83	4	0.07	38	0.64	-	-
秋田県	-	-	6	0.17	13	0.37	57	1.63	17	0.49	22	0.63	3	0.09	22	0.63	-	-
山形県	-	-	1	0.03	5	0.17	34	1.13	26	0.87	15	0.50	1	0.03	29	0.97	-	-
福島県	-	-	2	0.04	5	0.11	64	1.39	63	1.37	43	0.93	5	0.11	27	0.59	1	0.02
茨城県	2	0.02	14	0.19	18	0.24	81	1.09	37	0.50	36	0.49	8	0.11	21	0.28	-	-
栃木県	-	-	4	0.09	10	0.22	56	1.22	41	0.89	15	0.33	4	0.09	37	0.80	-	-
群馬県	-	-	11	0.18	18	0.29	63	1.02	23	0.37	12	0.19	9	0.15	29	0.47	-	-
埼玉県	-	-	17	0.15	18	0.15	152	1.30	103	0.88	63	0.54	10	0.09	87	0.74	-	-
千葉県	-	-	5	0.04	19	0.15	183	1.49	85	0.69	40	0.33	16	0.13	69	0.56	-	-
東京都	-	-	18	0.13	9	0.06	119	0.84	31	0.22	65	0.46	3	0.02	34	0.24	-	-
神奈川県	-	-	24	0.12	29	0.15	162	0.82	56	0.28	149	0.75	22	0.11	101	0.51	-	-
新潟県	-	-	9	0.15	12	0.20	95	1.58	46	0.77	31	0.52	11	0.18	38	0.63	-	-
富山県	-	-	1	0.03	12	0.41	62	2.14	17	0.59	39	1.34	7	0.24	23	0.79	-	-
石川県	-	-	8	0.28	1	0.03	57	1.97	28	0.97	30	1.03	4	0.14	26	0.90	-	-
福井県	-	-	11	0.50	7	0.32	72	3.27	30	1.36	4	0.18	2	0.09	19	0.86	-	-
山梨県	-	-	2	0.08	3	0.12	27	1.08	9	0.36	3	0.12	2	0.08	11	0.44	-	-
長野県	-	-	13	0.24	8	0.15	118	2.19	47	0.87	37	0.69	13	0.24	26	0.48	-	-
岐阜県	-	-	22	0.47	3	0.06	22	0.47	65	1.38	48	1.02	8	0.17	31	0.66	-	-
静岡県	-	-	30	0.35	39	0.45	180	2.09	50	0.58	82	0.95	22	0.26	69	0.80	-	-
愛知県	-	-	16	0.09	37	0.20	198	1.09	134	0.74	165	0.91	19	0.10	112	0.62	2	0.01
三重県	-	-	9	0.20	9	0.20	136	3.02	46	1.02	23	0.51	8	0.18	66	1.47	1	0.02
滋賀県	-	-	10	0.31	2	0.06	28	0.88	14	0.44	37	1.16	2	0.06	17	0.53	1	0.03
京都府	-	-	3	0.04	10	0.13	142	1.87	47	0.62	20	0.26	4	0.05	23	0.30	2	0.03
大阪府	-	-	29	0.15	36	0.18	251	1.29	139	0.71	140	0.72	13	0.07	115	0.59	-	-
兵庫県	-	-	27	0.21	28	0.22	231	1.80	107	0.84	119	0.93	15	0.12	84	0.66	-	-
奈良県	-	-	-	-	3	0.09	42	1.20	16	0.46	41	1.17	2	0.06	12	0.34	2	0.06
和歌山県	-	-	7	0.23	4	0.13	25	0.81	31	1.00	81	2.61	15	0.48	21	0.68	1	0.03
鳥取県	-	-	6	0.32	8	0.42	64	3.37	8	0.42	65	3.42	6	0.32	16	0.84	-	-
島根県	-	-	2	0.09	2	0.09	58	2.52	14	0.61	9	0.39	6	0.26	15	0.65	-	-
岡山県	-	-	4	0.09	7	0.16	71	1.61	39	0.89	109	2.48	8	0.18	13	0.30	-	-
広島県	-	-	25	0.33	23	0.31	155	2.07	41	0.55	109	1.45	7	0.09	61	0.81	-	-
山口県	-	-	4	0.08	20	0.41	104	2.12	15	0.31	18	0.37	12	0.24	44	0.90	-	-
徳島県	-	-	4	0.17	9	0.39	25	1.09	23	1.00	15	0.65	2	0.09	15	0.65	-	-
香川県	-	-	4	0.13	10	0.31	65	2.03	34	1.06	35	1.09	5	0.16	37	1.16	-	-
愛媛県	-	-	10	0.26	15	0.38	114	2.92	37	0.95	46	1.18	9	0.23	38	0.97	-	-
高知県	-	-	10	0.32	7	0.23	55	1.77	9	0.29	26	0.84	3	0.10	21	0.68	-	-
福岡県	-	-	31	0.26	51	0.43	325	2.71	68	0.57	21	0.18	5	0.04	95	0.79	2	0.02
佐賀県	-	-	12	0.52	22	0.96	41	1.78	27	1.17	3	0.13	1	0.04	27	1.17	-	-
長崎県	-	-	-	-	12	0.27	63	1.43	24	0.55	5	0.11	-	-	32	0.73	-	-
熊本県	1	0.01	15	0.31	36	0.73	118	2.41	31	0.63	5	0.10	6	0.12	41	0.84	1	0.02
大分県	5	0.09	-	-	26	0.72	142	3.94	54	1.50	5	0.14	3	0.08	37	1.03	1	0.03
宮崎県	-	-	14	0.38	26	0.70	141	3.81	34	0.92	17	0.46	2	0.05	54	1.46	-	-
鹿児島県	5	0.05	8	0.13	13	0.22	159	2.65	61	1.02	21	0.35	7	0.12	47	0.78	-	-
沖縄県	7	0.12	-	-	4	0.12	49	1.44	33	0.97	38	1.12	1	0.03	11	0.32	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年33週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	17	0.01	3346	1.13	129	0.04	2531	0.85	10	0.02	645	1.04	-	-	7	0.01	93	0.20
北海道	1	0.01	180	1.24	-	-	78	0.54	-	-	23	0.79	-	-	-	-	2	0.09
青森県	2	0.05	128	3.05	5	0.12	66	1.57	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	67	1.76	2	0.05	93	2.45	-	-	21	1.75	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	76	1.29	1	0.02	96	1.63	-	-	6	0.55	-	-	1	0.08	-	-
秋田県	-	-	89	2.54	-	-	57	1.63	-	-	16	2.29	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	41	1.37	-	-	38	1.27	-	-	1	0.13	-	-	-	-	3	0.30
福島県	-	-	89	1.93	12	0.26	84	1.83	-	-	6	0.50	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	47	0.64	4	0.05	52	0.70	-	-	59	3.69	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	40	0.87	1	0.02	50	1.09	-	-	36	3.00	-	-	1	0.14	2	0.29
群馬県	-	-	70	1.13	1	0.02	37	0.60	-	-	75	5.36	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.01	94	0.80	15	0.13	57	0.49	-	-	19	0.63	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	49	0.40	4	0.03	60	0.49	-	-	21	0.66	-	-	-	-	4	0.31
東京都	-	-	72	0.51	4	0.03	49	0.35	-	-	25	1.79	-	-	-	-	8	0.32
神奈川県	1	0.01	119	0.60	4	0.02	65	0.33	-	-	7	0.18	-	-	1	0.09	5	0.45
新潟県	-	-	77	1.28	-	-	44	0.73	-	-	2	0.22	-	-	-	-	4	0.33
富山県	-	-	48	1.66	-	-	30	1.03	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	24	0.83	-	-	23	0.79	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	17	0.77	-	-	3	0.14	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	17	0.68	-	-	18	0.72	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	155	2.87	1	0.02	48	0.89	-	-	16	1.60	-	-	-	-	3	0.27
岐阜県	-	-	110	2.34	10	0.21	37	0.79	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	115	1.34	10	0.12	61	0.71	1	0.05	10	0.50	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	172	0.95	16	0.09	124	0.68	1	0.03	11	0.31	-	-	-	-	3	0.23
三重県	-	-	140	3.11	-	-	36	0.80	1	0.08	9	0.75	-	-	-	-	5	0.56
滋賀県	1	0.03	39	1.22	-	-	25	0.78	4	0.57	12	1.71	-	-	-	-	3	0.43
京都府	1	0.01	76	1.00	-	-	31	0.41	1	0.06	8	0.44	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	206	1.06	14	0.07	95	0.49	-	-	45	0.87	-	-	-	-	2	0.13
兵庫県	-	-	199	1.55	4	0.03	144	1.13	1	0.03	16	0.44	-	-	-	-	1	0.08
奈良県	-	-	32	0.91	-	-	33	0.94	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1.50
和歌山県	-	-	63	2.03	-	-	58	1.87	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	11	0.58	-	-	44	2.32	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	6	1.20
島根県	-	-	11	0.48	-	-	24	1.04	-	-	2	0.67	-	-	-	-	3	0.38
岡山県	2	0.05	25	0.57	6	0.14	69	1.57	-	-	11	1.38	-	-	-	-	7	1.75
広島県	-	-	50	0.67	1	0.01	52	0.69	1	0.05	11	0.55	-	-	-	-	8	0.38
山口県	-	-	25	0.51	1	0.02	30	0.61	-	-	3	0.33	-	-	2	0.25	-	-
徳島県	-	-	30	1.30	-	-	17	0.74	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	21	0.66	3	0.09	18	0.56	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	45	1.15	-	-	39	1.00	-	-	16	2.29	-	-	-	-	2	0.33
高知県	-	-	72	2.32	1	0.03	18	0.58	-	-	2	0.67	-	-	-	-	3	0.38
福岡県	-	-	87	0.73	3	0.03	85	0.71	-	-	49	1.88	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	21	0.91	-	-	18	0.78	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	11	0.25	-	-	69	1.57	-	-	9	1.13	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	66	1.35	1	0.02	15	0.31	-	-	14	1.56	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	83	2.31	-	-	85	2.36	-	-	4	0.80	-	-	-	-	1	0.09
宮崎県	1	0.03	78	2.11	3	0.08	132	3.57	-	-	24	6.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	55	0.92	2	0.03	77	1.28	-	-	5	0.83	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	2	0.06	4	0.12	-	-	47	1.38	-	-	11	1.10	-	-	1	0.14	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年33週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	76	0.16	2	0.00	7	0.01
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	4	0.33	-	-	-	-
秋田県	4	0.50	-	-	-	-
山形県	3	0.30	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	2	0.20	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	0.08
東京都	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	3	0.27	-	-	3	0.27
新潟県	9	0.75	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	2	0.33	-	-	1	0.17
山梨県	6	0.60	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.20	-	-	1	0.10
愛知県	1	0.08	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.27	-	-	-	-
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	3	0.75	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	2	0.25	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	4	0.50	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	1	0.07	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	1	0.07	-	-
大分県	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	4	0.57	-	-	-	-
鹿児島県	3	0.25	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第33号 平成14年8月30日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。